

令和5年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

小学校 生活

調査研究の視点と主な審議内容（生活）

□各教科共通の観点について

すべての観点において研究会の評価どおり

□教科の観点について

すべての観点において研究会の評価どおり

□各教科共通の観点 (生活) 教科書会社名 (東京書籍)

各教科共通の観点		見	研究会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立した生活を豊かにしていくための資質・能力を育成できる内容となっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応していること。		○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。		○	○
	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。		○	○
	イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。		◎	◎
2	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「豊かな学力の向上及びグローバル社会を生きるキリ」教育の推進のために、多様な主体的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されていることにも、「福岡スタジアム」に位置づけられている「自学・自習」を効果的に取り上げることにより児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	他教科などとの関連が「つながる国際」などと記され具体的に書かれている。中学年以上の接続がイメージできるページも下巻末に配置されている。	◎	◎
	エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。	各活動の交流場面においてモデルとなる児童や教師の会話が色分けして示されている。巻末には伝え方やまとめ方を身に付けるための内容が充実している。	○	○
	オ 体験活動、実教・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	交流活動の場面では具体的な児童、教師、GTの姿、教室環境や表現方法が示されている。「学びをよかめろ」コーナーで気付きの質が高まっている姿が具体化している。	◎	◎
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	幼児や高齢者、外国の人、障がいのある人など、多様な人々が関わっている写真や挿絵が多く使われ、多様性に配慮がされている。	○	○
	ア 全体の分量は、授業時数から見ても適切であること。	安全や衛生面に関して紙面の「やくそく」に加え、二次元コードからアニメーションや動画で指導できるよう工夫されている。	○	○
3	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	単元ごとに、活動し気付いたことや興味をもったことをさらに広げたり深めたりできるよう発展的な内容を掲載している。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	児童が無理なく学習するのに全体の分量は適切である。	○	○
	ア 本文、問題、説明文、法、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用いられ、学習の深まりに有効に働くように配慮されていること。	授業時数に照らして内容は適切に配分されている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	どの内容も偏りがなく、掲載されている。	○	○
	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析ができるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	関心意欲をもたせざる単元扉から導入、体験活動、学びを深める交流活動、振り返り・表現と学習が流れよく、児童の気づきを促す吹き出しとともに資料が配置されている。	◎	◎
4	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	児童の興味や関心に応じて活用できる資料が単元の終わりに発展的な学習を促す資料として示されている。	○	○
	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析ができるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	学習内容に関連があるデジタルコンテンツが適切に配置されている。	○	○
	ア 本文、問題、説明文、法、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用いられ、学習の深まりに有効に働くように配慮されていること。		○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。		○	○
	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析ができるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。		○	○
5	ア ユニバーサルデザインを考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使用しやすいうように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び装本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体等はIPの配慮があり見やすい。また、小單元名、やくそく、マーク、記録カード、図鑑など定位置に固定され、児童にわかりやすい紙面となっている。	○	○
	イ 印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体等はIPの配慮があり見やすい。また、小單元名、やくそく、マーク、記録カード、図鑑など定位置に固定され、児童にわかりやすい紙面となっている。		○	○
	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析ができるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。		○	○
	ア 本文、問題、説明文、法、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用いられ、学習の深まりに有効に働くように配慮されていること。		○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。		○	○

□生活の観点 教科書会社名(東京書籍)

生活の観点	見所	研究会 調査研究委員会
1 身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自分と地域の人々、社会及び自然との関わりが具体的に把握できるような学習活動や校外での学習活動をとり入れた内容になっていること。	身近な人々、社会、自然と関わることのできる学習活動や校外活動が、児童の発達段階に応じて取り入れられている。学習課題に応じて、学習対象に関わる児童の姿が写真で大きく掲載されており、関わりが具体的に把握しやすい内容になっている。	○ ○
2 動植物の飼育・栽培に関する内容については、2学年間にとわたって取り扱われ、動物や植物への関わり方が深まるよう継続的な飼育・栽培を行うような内容になっていること。	動植物の飼育・栽培に関する内容が、2学年にとわたって取り扱われている。また、児童の発達段階に合わせて、変化や成長の様子がわかりやすく親しみやすい生き物を取り扱っており、視覚的にも捉えやすいように構成されている。	○
3 地域の人々、社会及び自然を生かすとともに、それらを一体的に取り扱う学習内容を取り入れた内容になっていること。特に、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共育」の観点から、保護者・地域と連携した学習が、効果的に実施できるような内容になっていること。	地域の人々、社会及び自然を生かすとともに、それらを一体的に取り扱う学習内容になっている。また、「共育」の観点から、保護者・地域と連携する單元では、学習の進め方や地域人材の活用の仕方が具体的に示されている。	○
4 身近な人々、社会及び自然と関わる活動を通して気付いたことや楽しかったことなどについて、多様な方法により表現し、考えを述べていくことができるような内容になっていること。	気付きが関連付き、学習を深める児童の姿が、写真や挿絵、吹き出し、表現作品などで具体的に示されている。気付きのカードや表現活動の挿絵、下巻末の「まとめよう」などを使って、多様な表現方法の例を提示するとともに、表現活動が適宜配置されている。	◎ ○
5 具体的な活動や体験を通して気付いたことを考えることができるように、見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を取り入れた内容になっていること。	学習カードに見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習内容がわかりやすく明示されている。巻末の「やってみよう」や「考えよう」でも、多様な学習内容を取り入れられている。	◎ ○
6 具体的な活動や体験を行う際に、身近な幼児や高齢者、障がいのある児童生徒などの多様な人々と触れ合うことができる内容やコンピュータなど情報機器について、児童の発達段階や生活科の特質などに応じて適切に活用することができる内容になっていること。	活動の挿絵や写真は、多様な人々と触れ合うことができる内容になっている。また、学習の各段階で一人一台端末を活用する姿が描かれており、それを使って協働的に学ぶ姿も具体的に示されている。巻末資料上下ともにICTの活用の仕方や振り返りやまとめ方の具体例が盛り込まれている。	◎ ○
7 生活上必要な習慣や技能については、人、社会、自然及び自分自身に関わる学習活動の展開に即して身に付く内容になっていること。	生活上必要な習慣や技能に関しては、各単元の活動内容に関するものが、見開きページの右端にイラストで提示されている。必要に応じて二次元コードのデジタル資料や巻末の「べんり手帳」を見ることで、活動展開に即して身に付く内容になっている。	○

□各教科共通の観点 (生活) 教科書会社名 (大日本図書)

各教科共通の観点

見所

研究会 調査研究委員会

内容の範囲及び程度	見所	研究会	調査研究委員会	
1	<p>ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。</p> <p>イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適合していること。</p> <p>ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。</p> <p>エ 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。</p> <p>イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。</p>	<p>身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立した生活を豊かにしていくための資質・能力を育成できる内容となっている。</p> <p>低学年の発達段階に配慮した内容の程度になっている。</p> <p>学習指導要領に示す内容を不足なく取り上げている。</p> <p>他教科との関連が深いところには「算数」など教科との関連が分かるマークが記載されている。</p> <p>話し合いや発表の仕方が巻末に学び方としてまとめて示しており、活用できるようにしている。</p>	○	○
2	<p>ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア学習の推進」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されていること。 「福岡スタジアム」に位置づけられている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。</p> <p>エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。</p> <p>オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。</p>	<p>幼児や高齢者、外国人、障がいのある人など、多様な人々が関わっている写真や挿絵が多く使われ、多様性に配慮がされている。</p> <p>活動場面に「やくそく」のコーナーで安全や衛生面で注意を促している。巻末資料「がくしゅうどうくばこ」の中で交通安全や自然災害について学ぶことができる。</p> <p>単元末の発展のコーナーで生活科の内容に見るSDGsについて特集するなど発展的な学習ができる工夫がある。児童の負担が過重にならない程度に考えられている。</p>	○	○
3	<p>ア 全体の分量は、授業時数から見適切であること。</p> <p>イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。</p> <p>ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。</p>	<p>児童が無理なく学習するのに全体の分量は適切である。</p> <p>授業時数に照らして内容は適切に配分されている。</p> <p>どの内容も偏りがなく、掲載されている。</p>	○	○
4	<p>ア 本文、問題、読明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くよう配置されていること。</p> <p>イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。</p> <p>ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。</p>	<p>興味関心をもたせ、学習の順序がわかるような写真やイラスト、資料に加え、キャラクターの問いかけを中心に学習が深まるよう配置されている。</p> <p>「はってん」と明示され区別されている。</p> <p>児童の興味関心を引くクイズや栽培方法などの動画や、生き物や植物の資料などデジタルコンテンツが適切に配置されている。</p>	○	○
5	<p>ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使用しやすいうように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。</p>	<p>印刷は鮮明であり、挿絵の色使いは配慮されている。余白が多く取ってあるのはよいが、その分文字や挿絵が小さく見づらく見づらいところがある。</p>	○	○

□生活の観点. 教科書会社名(大日本図書)

生活の観点

所見

研究会 調査研究委員会

<p>身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自分と地域の人々、社会及び自然との関わりが具体的に把握できるような学習活動や校外での学習活動を、取り入れた内容になっていること。</p>	<p>身近な動植物を取り上げて自然との関わりや校外での活動が具体的に想い起しやすくなる内容になっている。栽培活動では自分たちで育てた野菜を味わう活動も位置付けられている。</p>	<p>○</p>
<p>動植物の飼育・栽培に関する内容については、2学年間にわたって取り扱われ、動物や植物への関わり方が深まるよう継続的な飼育・栽培を行うような内容になっていること。</p>	<p>動植物の飼育・栽培を2学年にわたって取り扱われている。各学年とも、子どもが動物を抱えている写真や手の平に虫をのせている写真など、直接触れ合っている写真を取り上げている。動植物への気付きが深まるような吹き出しが掲載されている。</p>	<p>○</p>
<p>地域の人々、社会及び自然を生かすとともに、それらを一体的に扱うような学習内容を取り入れた内容になっていること。特に、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共育」の観点から、保護者・地域と連携した学習が、効果的に実施できるような内容になっていること。</p>	<p>地域の人々、社会及び自然を生かすとともに、それらを一体的に扱うような学習内容を取り入れた内容になっている。単元終末では、学習について家庭に報告したり、地域の人に発表したりする場面を適宜設け、関わりが深まるような内容になっている。</p>	<p>○</p>
<p>身近な人々、社会及び自然と関わる活動を通して気付いたことや楽しかったことなどについて、多様な方法により表現し、考えることを通して、気付きを確かめたり、気付いたことを関連付けたりすることができるような内容になっていること。</p>	<p>気付いたことを共有する場面を設定し、気付きを関連付けたり深めたりすることができるようになっている。巻末の「がくしゅうどうぐばこ」では、紙芝居、ペープサート、ポスターなどの気付いたことを多様に表現する方法が掲載されている。</p>	<p>○</p>
<p>具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考えることができるように、見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を取り入れた内容になっていること。</p>	<p>試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動につながるようなイラストや写真、二次元コードが適宜掲載されている。</p>	<p>○</p>
<p>具体的な活動や体験を行う際に、身近な幼児や高齢者、障がいのある児童生徒などの多様な人々と触れ合うことができる内容やコンピュータなど情報機器について、児童の発達段階や生活科の特質などに応じて適切に活用することができる内容になっていること。</p>	<p>多様な人々と触れ合う場面が掲載されている。また、「やってみよう せいかわつかいは、学習過程におけるタブレットの活用例が掲載されており、各単元での学習活動が具体的に示されている。</p>	<p>○</p>
<p>生活上必要な習慣や技能については、人、社会、自然及び自分自身に関わる学習活動の展開に即して身に付く内容になっていること。</p>	<p>巻末の「がくしゅうどうぐばこ」に生活上必要な技能についてイラストや二次元コードが掲載されている。</p>	<p>○</p>

□各教科共通の観点 (生活) 教科書会社名 (学校図書)

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。		○	○
	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適合していること。		○	○
2	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。		○	○
	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。		○	○
3	イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。		○	○
	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きていくための資質・能力を育成できる内容となっていること。」		○	○
4	エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。		○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。		○	○
5	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。		○	○
	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。		○	○
6	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。		○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。		○	○
7	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配慮されていること。		○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。		○	○
8	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。		○	○
	エ ユニバーサルデザインでの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使いやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。		○	○

□生活の観点 教科書会社名(学校図書)

生活の観点

所 見

研究会 調査研究委員会

<p>身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自分と地域の人々、社会及び自然との関わりが具体的に把握できるような学習活動や校外での学習活動を取り入れた内容になっていること。</p>	<p>身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりを感じられる内容になっている。</p>	○	○
<p>動植物の飼育・栽培に関する内容については、2学年間にわたって取り扱われ、動物や植物への関わり方が深まるよう継続的な飼育・栽培を行うような内容になっていること。</p>	<p>2学年にわたり継続的な飼育・栽培を行う内容になっている。上巻で福岡市ではあまり飼育されていないモルモットや鳥類に関する学習が掲載されているが、他の動物や昆虫も取り扱うことができるように複数の写真が使用されている。</p>	○	○
<p>地域の人々、社会及び自然を生かすとともに、それらを一体的に扱うような学習内容を取り入れた内容になっていること。特に、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共育」の観点から、保護者・地域と連携した学習が、効果的に実施できるとしていること。</p>	<p>地域の人々、社会及び自然を生かすとともに、それらを一体的に扱う学習内容になっている。また、「共育」の観点から、1学年では家族、2学年では地域の人と積極的に関わる内容が設定されている。</p>	○	○
<p>身近な人々、社会及び自然と関わる活動を通して気付いたことや楽しかったことなどについて、多様な方法により表現し、考えることを通じて、気付きを確かめたり、気付いたことを関連付けたりすることができるような内容になっていること。</p>	<p>学習カードは発達段階や児童の実態に即した内容になっている。巻末のカードを「書く」という項目において、カードの書き方と共に気付きを表現する具体例が示されている。</p>	○	○
<p>具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考えることができるように、見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を取り入れた内容になっていること。</p>	<p>学習課程に沿って「ものしりのうた」が配置されていることで、児童が見付け手掛かりになる。</p>	○	○
<p>具体的な活動や体験を行う際に、身近な幼児や高齢者、障がいのある児童生徒などの多様な人々と触れ合うことができる内容やコンピュータなど情報機器について、児童の発達の段階や生活科の特質などに応じて適切に活用することができる内容になっていること。</p>	<p>活動の挿絵には、多様な人々と触れ合うことができる内容になっている。知識・技能につながる二次元コードは掲載されているが、児童が学習活動で一人一台端末を活用している場面が少ない。</p>	○	○
<p>生活上必要な習慣や技能については、人、社会、自然及び自分自身自身に関わる学習活動の展開に即して身に付く内容になっていること。</p>	<p>生活上必要な習慣や技能に関しては、必要に応じて巻末の「学び方図鑑」を見ることで、活動展開に即して身に付く内容になっている。また、それぞれの技能はわかりやすいマークで示されている。</p>	○	○

□各教科共通の観点 (生活) 教科書会社名 (教育出版)

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。		○	○
	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適切していること。		○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。		○	○
	エ 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。		○	○
	イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。		○	○
2	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されていることにも、「福岡スタンダード」に位置づけられている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的に深い学びが促されるよう配慮されていること。		◎	◎
	エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解し自分自身の考え方を広げたりすることができるように配慮されていること。		○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。		○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。		○	○
	ア 全体の分量は、授業時数から見ても適切であること。		○	○
3	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。		○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。		○	○
	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を進める「はてな」学習の深まりに有効に働くように配慮されていること。		○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。		○	○
	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。		○	○
4	イ 印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさは適切である。児童のカードも大きく掲載され見やすい。一方、1ページに写真やイラスト、文字が多く、情報過多に感じられるページも散見される。		○	○
	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。		○	○
	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を進める「はてな」学習の深まりに有効に働くように配慮されていること。		○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。		○	○
	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。		○	○
5	イ 印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさは適切である。児童のカードも大きく掲載され見やすい。一方、1ページに写真やイラスト、文字が多く、情報過多に感じられるページも散見される。		○	○
	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。		○	○
	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を進める「はてな」学習の深まりに有効に働くように配慮されていること。		○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。		○	○
	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。		○	○

□生活の観点 教科書会社名(教育出版)

生活の観点		所見	研究会 調査研究委員会
1	身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自分と地域の人々、社会及び自然との関わりが具体的に把握できるような学習活動を、取り入れた内容になっていること。	身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、社会及び自然との関わりが具体的に把握できるような学習活動を取り入れた内容になっている。単元導入の「わくわくスイッチ」によって自分自身や身の回りのことを想起しやすくなっている。	○
2	動植物の飼育・栽培に関する内容については、2学年間にわたって取り扱われ、動物や植物への関わり方が深まるような内容になっていること。	飼育・栽培の内容は2学年にわたって取り扱われている。発達段階に依りて継続的な飼育を取り扱うなど関わりが深まるような学習が設定されている。また、栽培活動では、野菜への関心が高まるよう、ミニ知識や世話の仕方、野菜の種類など豊富に掲載されている。	○
3	地域の人々、社会及び自然を生かすとともに、それらを一体的に扱う学習内容を取り入れた内容になっていること。特に、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共生」の観点から、保護者・地域と連携した学習が、効果的に実施できている内容になっていること。	地域の人々、社会及び自然を生かすとともに、それらを一体的に扱う学習内容になっている。一方で、他府県の行事や町の様子を紹介する写真が多く、地域の方との触れ合う学習活動と結びつきにくい。	○
4	身近な人々、社会及び自然と関わる活動を通して気付いたことや楽しかったことなどについて、多様な方法により表現し、考えることを通して、気付きを確かめたり、気付いたことを関連付けたりすることができるような内容になっていること。	気付いたことを文章で記録するカードや吹き出しが掲載されている。また、表現や交流の場面では、紙芝居、ミニ図鑑、パズルなど多様な方法で表現し、交流する様子のイラストが列示されており、気付きを確かめたり、関連付けたりすることができるような内容になっている。	○
5	具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考えることができるように、見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を取り入れた内容になっていること。	写真や吹き出し、学習カードによって試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動が分かりやすく示されている。「かんがえまとめ」によってこれまでの学習を振り返り、次の課題を見付けることができる。	○
6	具体的な活動や体験を行う際に、身近な幼児や高齢者、障がいのある児童生徒などの多様な人々と触れ合うことができる内容やコンピュータなど情報機器について、児童の発達の段階や生活科の特質などに応じて適切に活用することができる内容になっていること。	イラストの中に身近な幼児や高齢者、障がいのある児童など多様な人々と触れ合う場面が掲載されている。また、学習の各段階で一人一台端末を活用する姿が描かれており、巻末の「学びのポケット」では、情報機器の活用例がまとめ掲載されている。	◎
7	生活上必要な習慣や技能については、人、社会、自然及び自分自身に関わる学習活動の展開に即して身に付く内容になっていること。	生活上必要な技能を詳しく特集している「学びのポケット」が巻末に示してあり、技能を身に付ける上で有用である。個々の技能についても、それぞれの単元において写真や言葉で取り上げられており、学習活動の展開に即して身に付く内容となっている。	○

□各教科共通の観点、(生活) 教科書会社名 (信州教育出版)

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。 イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適切になっていること。 ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。 エ 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。 イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	身近な生活に関わる見方、考え方を生かし、自立した生活を豊かにしていくための資質・能力を育成できる内容となっている。 低学年の発達段階に配慮した内容の程度になっている。 学習指導要領に示す内容を不足なく取り上げている。 各単元の活動の中に、各教科とつないで学習する表現活動や造形活動等の例が掲載されている。 観察カードや日記、手紙などを多数配置し、表現方法や伝える大切さを示している。	○	○
2	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキヤリ教育の推進」のために、「多様な主体的な学習・基礎的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習」が重視されていることにも、「福岡スタジアム」に位置づけられている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。 エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。 オ 体験活動、実験、実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	学びが連続するよう、多様な感動体験、探究活動、表現活動が示されている。しかし、やぎの飼育や雪遊びなど信州の地方色が濃く、福岡市では体験できない内容が多くなっている。 幼児や高齢者、外国人の人、障がいのある人など、多様な人々が関わっている写真や挿絵が多く使われ、多様性に配慮がされている。 「きをつけよう」のコーナーで、健康と安全に配慮する事柄が示されている。	○	○
3	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。 ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。 イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。 ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	生き物や植物との継続的な関わりを大切に、飼育動物との別れや収穫したものの調理などを児童の負担とならない程度に発展的に取り上げている。 児童が無理なく学習するのに全体の分量は適切である。 授業時数に照らして内容は適切に配分されている。 どの内容も偏りなく、掲載されている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配慮されていること。 イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	感動体験、探究活動、表現活動を学習カード、絵などで示し、学習が深まるよう配置されている。 各単元の終わりに発展的な内容とわかるように示されている。	○	○
5	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。 エ ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	URL、二次元コードを巻頭に示し、図鑑として活用できるよう配置されている。児童の興味関心をもたせ、発展的な学習につなぐには、資料の分量が少ない。 印刷は鮮明であり、文字の大きさ、製本の様式、材料等は適切である。一部絵に文字が重なって読みづらい箇所がある。	△	○

□生活の観点 教科書会社名(信州教育出版)

生活の観点		所見	研究会	調査研究委員会
1	身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自分と地域の人々、社会及び自然との関わりが具体的に把握できるような学習活動を取り入れた内容になっていること。	自分と地域の人々、社会及び自然との関わりが具体的に把握できるような学習活動を取り入れた内容になっている。特に、校外での学習を十分に取入れており、生活科のねらいを達することができる。	○	○
2	動植物の飼育・栽培に関する内容については、2学年間にわたって取り扱われ、動物や植物への関わり方が深まるよう継続的な飼育・栽培を行っていること。	2学年にわたって動植物への関わり方が深まるよう継続的な飼育・栽培を行う内容になっている。一方で、ヤギの飼育など実際の活動が難しい内容が多く、信州に特化したものとなっており、本市の実態には合っていない。	△	△
3	地域の人々、社会及び自然を生かすとともに、それらを一体的に扱うような学習内容を取り入れた内容になっていること。特に、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共育」の観点から、保護者・地域と連携した学習が、効果的に実施できていること。	挿絵や写真、活動例の中に保護者・地域と連携した学習が多く取り上げられている。地域色が強く、本市の実態に合わないところはあるが発展的に捉えれば活用することができる。	○	○
4	身近な人々、社会及び自然と関わる活動を通して気付いたことや楽しかったことなどについて、多様な方法により表現し、考えることを通して、気付きを確かめたり、気付いたことを関連付けたりすることができるような内容になっていること。	どの活動においても気付いたことや楽しかったことが、本文や吹き出しから見て取れる。気付きを促すものや関連付けているものもあるが、多様な方法で表現されているとは言えない。	○	○
5	具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考えることができるように、見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を取り入れた内容になっていること。	教科書の中に見付ける、比べる、見通す内容等は写真や本文を通して想起できるようになっているが、具体的に小見出しをつけているなど多様な学習活動が区切られているわけではない。	○	○
6	具体的な活動や体験を行う際に、身近な幼児や高齢者、障がいのある児童生徒などの多様な人々と触れ合うことができる内容やコンピュータなど情報機器について、児童の発達段階や生活科の特質などに応じて適切に活用することができる内容になっていること。	活動の挿絵等より、多様な人々と触れ合うことができる内容になっている。また、活用例は少ないが、児童が活動の中でICTを活用している場面は上下巻ともにある。	○	○
7	生活上必要な習慣や技能については、人、社会、自然及び自分自身に関わる学習活動の展開に即して身に付く内容になっていること。	生活上必要な習慣や技能について身に付く内容になっているが、挿絵や写真のみなどが掲載されている箇所が多く、取り扱う際に教師の補充の説明が必要である。	○	○

□各教科共通の観点（生活）教科書会社名（光村図書）

各教科共通の観点

所見

研究会 調査研究委員会

内容の範囲及び程度	内容	所見	研究会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。 イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応していること。 ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立した生活を豊かにしていくための資質・能力を育成できる内容となっている。 低学年の発達段階に配慮した内容の程度になっている。 学習指導要領に示す内容を不足なく取り上げている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。 イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。 ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生かせるキャリア教育の推進」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されていることにも、「福岡スタジアム」に位置づけられている「自学・自習」を効果的に進められるよう、原書の内容・構成・図表・写真・イラスト等に、児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	特に入学当初の単元において、他教科との関連を示した写真が多く掲載されている。 観察カードを時系列順に掲載していること、上下巻共に巻末に多様な表現方法が掲載されていること、言語活動の充実を図っている。 どの単元も、意欲と見通しをもち、学びを深め、振り返るといって3つのステップを踏み、問題解決的な学習過程が示されている。単元末には「楽しい毎日につなげよう」のコーナーがあり、生活科につながる発展的な学びが促されている。	○	◎
3	エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。 オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。 カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	幼児や高齢者、外国人の人、障がいのある人など、多様な人々が関わっている写真や挿絵が多く使われ、多様性に配慮がされている。 安全や衛生面に関して紙面の「やくそく」きをつけよう、二次元コードからアニメーションや動画等で指導できるよう工夫されている。	○	○
4	ア 全体の分量は、授業時数から見適切であること。 イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。 ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	児童が無理なく学習するのに全体の分量は適切である。 授業時数に照らして内容は適切に配分されている。	○	○
5	ア 本文、問題、説明文、注、作品、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配慮されていること。 イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。 ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配慮されていること。	どの内容も偏りなく、掲載されている。 興味関心をもたせざる写真やイラスト、「学び方のヒント」の提示で学習への視点を与え、深い学びへとつなぐ工夫をしている。 発展的な学習については単元末のページに「たのしい、まいにちにつなげよう」と記された日常生活で生かしたり、生活を豊かにしたりするためのヒントが掲載されている。 各単元の活動場面において、ICT機器の活用例が示されている。紙面の二次元コードを使うと、ICT機器の使い方や安全面・衛生面、技能の動画を見ることが出来る。	○	○
6	ユニバーサルデザインの色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体などは適切である。ユニバーサルデザインの観点から、配色・色調にも配慮されている。	○	○

□生活の観点 教科書会社名(光村図書)

生活の観点		所見	研究会	調査研究委員会
1	身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自分と地域の人々、社会及び自然との関わりが具体的に把握できるような学習活動や校外での学習活動を、取り入れた内容になっていること。	身近な人々、社会、自然と関わることでできる学習活動が具体的に示されている。 イラストや吹き出しによって学習活動が具体的に示されている。	○	○
2	動植物の飼育・栽培に関する内容については、2学年間にわたって取り扱われ、動物や植物への関わり方が深まるよう継続的な飼育・栽培を行うような内容になっていること。	動植物の飼育・栽培は2学年間にわたって取り扱われている。発達段階に応じて継続的な飼育など生き物との関わりが深まるような学習が設定されている。	○	○
3	地域の人々、社会及び自然を生かすとともに、それらを一体的に扱うような学習内容を取り入れた内容になっていること。特に、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共育」の観点から、保護者・地域と連携した学習が、効果的に実施できるような内容になっていること。	地域の人々、社会及び自然を一体的に扱うような内容になっている。「共育」の観点から、単元終末には、「楽しい毎日につなげよう」で、日常とつながる展開が示され、「保護者の皆様へ」で、保護者への留意事項が示されている。	○	○
4	身近な人々、社会及び自然と関わる活動を通して気付いたことや楽しかったことなどについて、多様な方法により表現し、考えることを通して、気付いたことを関連付けたりすることができるようになっていること。	気付いたことを多様な方法で表現することができるように、紙芝居、プレゼンテーション、新聞などの具体例が示されている。また、単元終末では、他者との対話や個人での振り返りの姿を提示し、気づきを自覚したり、捉え直したりする内容になっている。	○	○
5	具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考えることができるように、見付ける、比べる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を取り入れた内容になっていること。	学習課程において、見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動が写真や作品例などで示されている。また、考えを深めるための手掛かりが学習の展開に沿って掲載されており、学習を進める上での手立てになっている。	◎	◎
6	具体的な活動や体験を行う際に、身近な幼児や高齢者、障がいのある児童生徒などの多様な人々と触れ合うことができる内容やコンピュータなど情報機器について、児童の発達の段階や生活科の特質などに応じて適切に活用することができる内容になっていること。	発達段階に応じて、身近な幼児や高齢者、障がいのある人の写真やイラストを用い、関わりのかかわりかたが示されている。また、情報機器について、二次元コードが添付され、アニメーションや解説動画も掲載されている。	○	○
7	生活上必要な習慣や技能については、人、社会、自然及び自分自身に関わる学習活動の展開に即して身に付く内容になっていること。	生活上必要な習慣や技能について、学習の展開に即して写真や二次元コードで示している。別冊「ひろがるせいけん」にポイントがまとめ掲載されており、自分で確かめることで、習慣や技能が身に付く内容になっている。	◎	◎

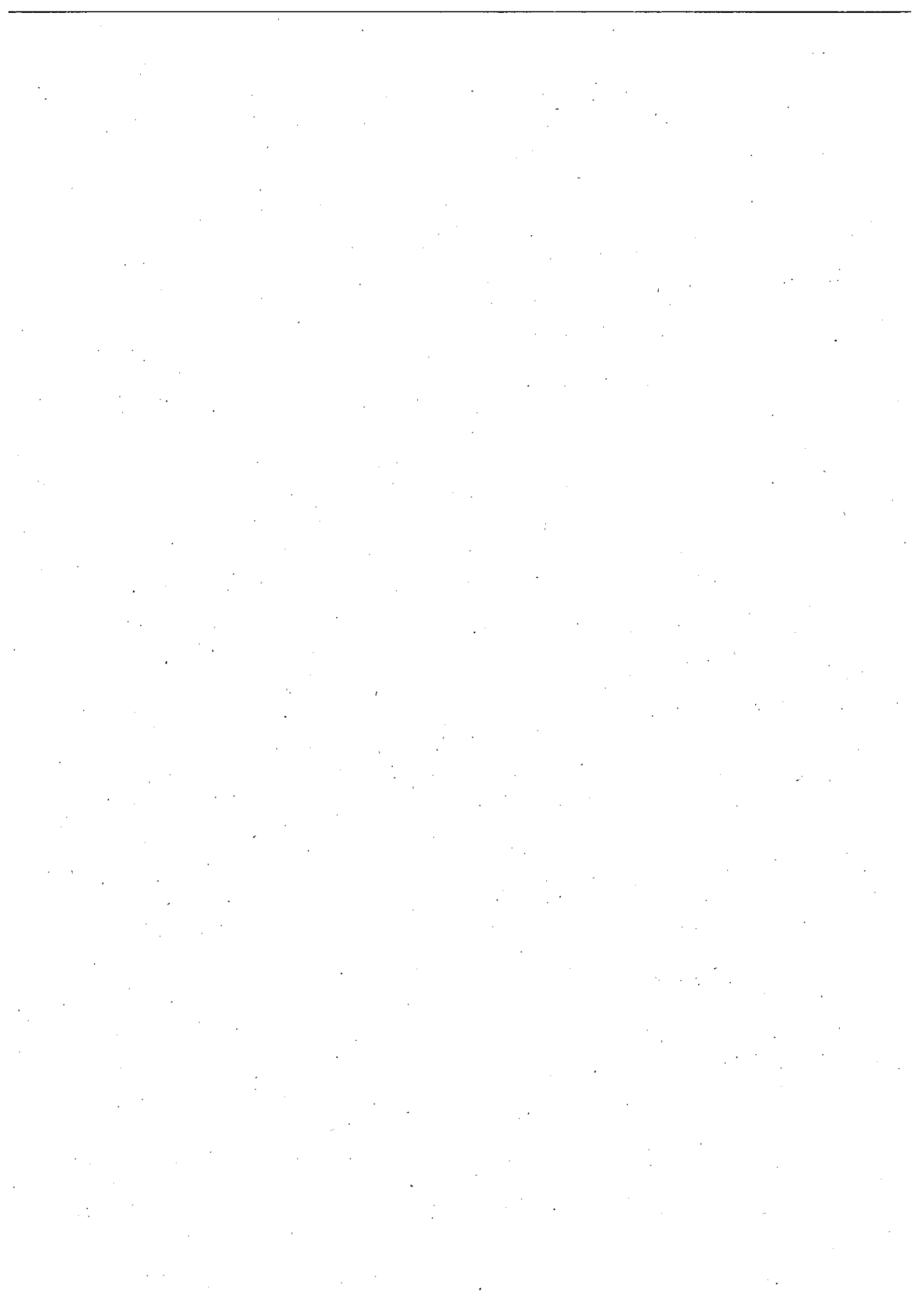
□各教科共通の観点 (生活) 教科書会社名 (啓林館)

各教科共通の観点 見 研究会 調査研究委員会

内容の範囲及び程度	見	研究会	調査研究委員会	
1	<p>ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。</p> <p>イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適合していること。</p> <p>ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。</p> <p>エ 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。</p> <p>イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。</p> <p>ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「豊かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけられている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。</p>	<p>身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立した生活を豊かにしていくための資質・能力を育成できる内容となっている。</p> <p>低学年の発達段階に配慮した内容の程度になっている。</p> <p>学習指導要領に示す内容を不足なく取り上げている。</p> <p>作文や絵画など他教科と関連した例を掲載しマークで示している。下巻の巻末には3年生へのステップアップブックとして身につけた力を生かして次の学年につなぐことができるよう工夫している。</p> <p>巻末に「まとめよう つたえよう」等のコーナーで言語活動に関する資料を掲載している。</p> <p>ページごとに「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の段階を示してあり、問題解決的な学習内容で構成されている。単元の終末段階で学びの深まりとその自己評価を適時に行える工夫がある。</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>◎</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>◎</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
2	<p>エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。</p> <p>オ 体験活動、実験、実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。</p> <p>カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。</p>	<p>幼児や高齢者、外国の人、障がいのある人など、多様な人々が関わっている写真や挿絵が多く使われ、多様性に配慮がされている。</p> <p>健康や安全に関することは、各活動場面や巻末の資料で示されている。</p> <p>上下巻ともにデジタル図鑑「デジタルたんけんブック」を使用することができ、児童の興味関心に添って情報を得ること、学習の広がりが期待できる。</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
3	<p>ア 全体の分量は、授業時数から見ても適切であること。</p> <p>イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。</p> <p>ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。</p>	<p>児童が無理なく学習するのに全体の分量は適切である。</p> <p>授業時数に照らして内容は適切に配分されている。</p> <p>どの内容も偏りがなく、掲載されている。</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
4	<p>ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配慮されていること。</p> <p>イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。</p> <p>ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるように、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。</p>	<p>本文、写真、挿絵、作品が児童の思考の流れに沿って配置され、「くらべる」「たよる」「ためす」などのキーワードを示すことで、気付きの質を高める工夫がある。</p> <p>単元末に「ひろがるさくら」のコーナーを設けたり図鑑を準備したりして、発展的な活動を使っている。</p> <p>各単元の活動場面において、ICT機器の活用例が示されている。紙面の二次元コーナーから「学びウェブ」「デジタルたんけんブック」を活用し、関連する動画や音声等で情報を得ることができる。</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>◎</p> <p>○</p>
5	<p>ユニバーサルデザインへの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。</p>	<p>印刷は鮮明であり、挿絵の色合いが華やかしている。見開きページ当たりのイラストと写真の配分、見出し等の文字の大きさや配色などに配慮がある。</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>

□生活の観点 教科書会社名(啓林館)

生活の観点		所見	研究会 調査研究委員会
1	身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自分と地域の人々、社会及び自然との関わりが具体的に把握できるような学習活動を取り入れた内容になっていること。	身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、社会及び自然との関わりが具体的に把握できるような学習活動を取り入れた内容になっており、写真やイラストなどで具体的に示されている。	○
2	動植物の飼育・栽培に関する内容については、2学年間にわたって取り扱われ、動物や植物への関わり方が深まるよう継続的な飼育・栽培を行うような内容になっていること。	動植物の飼育・栽培に関する内容は2学年にわたって取り扱われている。取り上げている動物や植物も身近なものになっている。また、動植物への関わり方が深まるよう吹き出しや活動例が工夫されている。	○
3	地域の人々、社会及び自然を生かすとともに、それらを一体的に扱うような学習内容を取り入れた内容になっていること。特に、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共育」の観点から、保護者・地域と連携した学習が、効果的に実施できるような内容になっていること。	主に学習場面の交流や振り返り活動の中に、地域の人々、社会及び自然を一体的に取り扱っている写真や活動場面が工夫されている。特に単元終末の場面で「共育」の観点から保護者・地域と連携した学習の紹介が多い。	○
4	身近な人々、社会及び自然と関わる活動を通して気付いたことや楽しかったことなどについて、多様な方法により表現し、考えることを通して、気付きを確かめたり、気付いたことを関連付けたりすることができるような内容になっていること。	気付きの質を高めるために学びのキーワードが掲載され、それをヒントに児童の気付きを確かめたりとしたり関連付けたりすることができるようにになっている。また、単元終末の「できかたかな?」において、気付きが深まる手助けとなっている。	○
5	具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考えることができるように、見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を取り入れた内容になっていること。	単元の導入に掲載されている「わくわくしたいね!」は、単元の意欲付けや見通しにおいて有効である。また、多様な学習活動につながるものを単元ごとに取り上げていたり巻末に分かりやすくまとめたりしている。	○
6	具体的な活動や体験を行う際に、身近な幼児や高齢者、障がいのある児童生徒などの多様な人々と触れ合うことができる内容やコンピュータなど情報機器について、児童の発達の段階や生活科の特質などに応じて適切に活用することができる内容になっていること。	多様な人々と触れ合うことができる内容になっている。教科書には、ウェブやデジタルたんけんブックなどデジタルコンテンツが多く掲載されており、活動の充実につながるものが期待できる。また、タブレットの活用例も多く、児童の発達段階に応じて指導しやすい。	◎
7	生活上必要な習慣や技能については、人、社会、自然及び自分自身に関わる学習活動の展開に即して身に付く内容になっていること。	上下巻の巻末に掲載されている「がくしゅうずかん」を活用することで、生活上必要な習慣や技能に関して指導することができる。	○



令和5年度
福岡市教科用図書調査研究委員会
調査研究報告書（答申）

小学校 音楽

調査研究の視点と主な審議内容（音楽）

□各教科共通の観点について

3 分量

観点

ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。

主な審議内容

△【教育出版】△【教育芸術社】→研究会の評価どおり ただし審議を受け所見の記述を変更

観点3ア（全体の分量）は△だが、3イ（授業時数に照らして適切に配分）○となっており、評価が違うのはなぜか。すべての楽曲を取り扱うと、児童が学習するにあたり分量が多いということであれば、その視点で所見を記載した方がよい。

□教科の観点について

主な審議内容	
<p>3 音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができる内容になっていること。特に「福岡スタンダード」に示されている「自学・とも学」の観点から、進んで自分の考えをもち、友達と交流しながら、音楽表現を生み出したり、音楽を聴いてそのよさを見出したりできるといった内容になっていること。</p>	<p>○【教育出版】◎【教育芸術社】→研究会の評価どおり ただ審議を受け所見の記述を変更</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>教育芸術社の◎の理由は、観点に沿った内容となるように、所見を見直した方がよい。</p> </div>

□各教科共通の観点 (音楽) 教科書会社名 (教育出版)

各教科共通の観点		見	研究会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	ねらいが捉えやすく、音楽の見方・考え方をはたらかせながら音楽表現を工夫したり、音楽を味わって聴いたりすることができる内容になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適合していること。	学年の発達段階に配慮した教材の配列と内容になっている。	○	○
2	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	不足なく取り上げている。	○	○
	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	国語や外国語等、また、各学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。	○	○
3	イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	音楽を聴いて自分が感じ取ったことや聞き取ったことを言語化したことや、挿絵やコメントが工夫され、書き込みの工夫が取り入れられている。 「学びナビ」で深く視点や交流する視点が示されている。 2～6年生の巻末に、「音楽を表すいろいろな言葉」の例が示されており、言語表現する際のヒントにできるよになっている。	○	○
	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」のために、多様な主体的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されていることと、ともに、「福岡スタジアム」に位置づけられている「自学・自習」を効果的に進められるように児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的に深い学びが促されるよう配慮されていること。	音楽表現を工夫したり、音楽を味わって聴いたりすることができるよう、挿絵やコメントが工夫されている。友達と一緒に音楽表現を工夫したり、音楽のよさを味わったりすることができるよう活動したくさん取り入れられている。 二次元コードを用いて、タブレット等で学習ができるよになっている。	○	○
4	エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよ、多様性への配慮がされていること。	児童一人一人が音楽を楽しむことができるよ、表現領域と鑑賞領域で満遍なく音楽活動が取り入れられている。 「学びナビ」で指導内容が明確にされており、子どもたちが学ぶ視点にもなっている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動は、安全・衛生面が配慮されている。	○	○
5	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されている。	○	○
	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	指導の仕方によっては、授業時数に対してやや過多となる。	△	△
6	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	適切に配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	どの領域、活動においても、内容は偏りなく、取り扱われている。	○	○
7	ア 本文、問題、説明文、注、作品、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	説明、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で学習の深まりに有効に働くように配置されている。特に、写真は歌詞の内容に合わせて児童の感性に働きかけるものが用意されている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げられる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることを明示されていること。	発展的な学習内容を取り上げる場合には、「はってん」としてそれ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることを明示されている。	○	○
8	ウ 1人1人端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよ、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	二次元コードを用いて、タブレット等で学習ができるよになっている。	○	○
	エ ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使用しやすいよ、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	教科書のサイズは現行と同じAB版で適切である。装綴は大きい。	○	○

□ 音楽の観点 教科書会社名 (教育出版)

音楽の観点		所見	研究会	調査研究委員会
1	表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わることでできる内容になっていること。	低学年は生活経験や遊びの中の音や音楽、また中・高学年は季節や祭りや祭りに感じられるもの、さらに高学年は生活の中でよく耳にする民謡など、どの学年も音や音楽と自然や社会などと関わるような内容になっている。音楽的な見方・考え方を働かせながら活動できるように、鑑奏例が細やかに示されている。	◎	◎
2	曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けることができる内容になっていること。	「学びリンク」では歌唱・鑑奏の動画が視聴でき、学習で身につけさせたい歌いやリコーダーの演奏方法などの動画を視聴できる。	○	○
3	音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができる内容になっていること。特に「福岡スタジアム」に示されている「自学・とも季」の観点から、進んで自分の考えをもち、友達と交流しながら、音楽表現を生み出し、音楽を聴いてそのよさを見出したりできるような内容になっていること。	音楽表現を工夫したり、音楽を味わって聴いたりすることができ、さらに、描画やコメントが工夫されている。友達と一緒に音楽表現できるような活動もたくさん取り入れられている。	○	○
4	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心構えと音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培うことができる内容になっていること。	各領域と活動がバランスよく取り入れられている。また、子どもの感性に働きかける情景写真が一部共通教材には折込ワイド版で掲載されている。	◎	◎
5	〔共通事項〕を要として各領域や分野の関連を図り、年間を通して継続的に指導することができる内容になっていること。	目次と巻頭の「学習マップ」に、題材のねらいや活動が示されており、一目で把握することができるようにしている。楽曲ごとに主な〔共通事項〕も示され、継続して指導することができ、巻末には「音楽のよさ」に年間を通して指導する〔共通事項〕が載っており、各学年の系統性も見えやすい。	○	○
6	歌唱・器楽については、歌唱表現及び器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌ったり演奏するかについて思いや意図をもったり、曲想と音楽の構造や歌詞の内容、曲想と音楽の構造との関わりや多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方の関わりについて理解したり、思いや意図に合った表現をするために必要な技能を身に付けたりすることができる内容になっていること。	「学びリンク」として掲載されている二次元コードによって、楽曲に対する思いや意図を保持したり、必要な技能を身に付けることができるようになっている。また各ページに「音ナビ」ナビマークがあり、子どもの気付きや思いを引き出すような問いの例が示されている。	○	○
7	歌唱については、我が国や郷土福岡の音楽に愛着をもち、守り伝えるとともに、アジア・世界の国・地域の様々な価値を認められるよう、共通教材のほか、長い間親しまれてきた唱歌、それぞれの地方に伝承されているわらべうたや民謡など日本のうたを含めて選択することができる内容になっていること。	低学年では日本の行事の歌やわらべ歌、中・高学年では日本と世界の音楽やお祭りや民謡、高学年では民謡や日本と世界の音楽が、発達段階に応じて系統的に掲載されている。	○	○
8	中学年の器楽については、主旋律の演奏から和音を用いた演奏や低声部の充実にもまで幅広く活用することができる。鍵盤楽器や、笛など、無理なく取り組むことができ、我が国の音楽のよさを感じ取れる和楽器の中から、児童や学校の実態に応じて選択できる内容になっていること。また、高学年の器楽については、合奏においては、各声部の役割を生かした演奏ができるよう、楽器の特性を生かして合奏で扱う楽器を選択することができる内容になっていること。	中学年の器楽では、鍵盤ハーモニカや低音楽器などが取り入れられており、和楽器については、箏の演奏が取り入れられている。第8学年の器楽については、楽器の特性を生かしてそれぞれのパートにふさわしい楽器を選択して演奏ができるような内容が取り入れられている。	○	○
9	音楽づくりについては、音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら即興的に表現することを通して、音楽づくりの様々な発想を得たり、音や音楽と構成することを通して、どのように全体のまとまりを意図した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりすることができる内容になっていること。また、いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴や音やフレーズのつなげ方や重ねる特徴が生み出すよさや面白さを付随させて理解することができる内容になっていること。さらに、発想を生かした表現や、思いや意図に合った表現をするために、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたったりして表現したり、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくらせたりする技能を身に付けることができる内容になっていること。	音楽づくりの手順が明確に示されており、音楽を形づくっている要素や音楽の仕組みをもとに、見通しをもつて音楽をつくることができる。	○	○
10	鑑賞については、鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見出し、曲全体を味わって聴いたり、曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解したりすることができる内容になっていること。	音楽の特徴について、感じ取ったり聴き取ったりするための視点の提示が示されている。旋律の動きや楽曲の構造を視覚的に捉えられようになっている。	○	○

□各教科共通の観点 (音楽) 教科書会社名 (教育芸術社)

各教科共通の観点		見	研究会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	ねらいが捉えやすく、音楽の見方、考え方をはたからせながら音楽表現を工夫したり、音楽を味わって聴いたりすることができている内容になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適切していること。	学年の発達段階に配慮した教材の配列と内容になっている。	○	○
2	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す事項を不足なく取り上げていること。	不足なく取り上げている。	○	○
	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導されていること。	国語や外国語等、また、各学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。	○	○
3	イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	音楽を聴いて自分が感じ取ったことや聞き取ったことを言語化したり、友達と伝え合ったりしやすいよう、書き込みの工夫が取り入れられている。「考える」マークや「見つける」マークで音楽のよさを考えたり、演奏の工夫を考えたりする視点が示されている。	○	○
	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「豊かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きていくための教育の推進」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されていること。また、「徳目スタンダード」に位置づけられている「自学・自習」も学を列挙的に挙げていくこと。さらに児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的に深い学びが促されるよう配慮されていること。	音楽表現を工夫したり、音楽を味わって聴いたりすることができているように、挿絵やコメントが工夫されている。友達と一緒に音楽表現を工夫したり、音楽のよさを味わったりすることができているような活動もたくさん取り入れられている。また、その表示の仕方が見やすい。どの楽曲、活動でも二次元コードを用いて、タブレット等で学習することができている。	◎	◎
4	エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考えを広げたりすることができ、多様性への配慮がされていること。	児童一人一人が音楽を楽しめることができるよう、表現領域と鑑賞領域で満遍なく音楽活動を取り入れられている。「考える」マークや「見つける」マークで指導内容が明確にされており、子どもたちが学ぶ視点にもなっている。また、その表示の仕方が見やすい。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動は、安全・衛生面が配慮されている。	○	○
5	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されている。	○	○
	ア 全体の分量は、授業時数から見適切であること。	指導の仕方によっては、授業時数に対してやや過多となる。	△	△
6	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	適切に配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	どの領域、活動においても、内容は偏りなく、取り扱われている。	○	○
7	ア 本文、問題、説明文、注、作品、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配慮されていること。	説明、注、作品、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で学習の深まりに有効に働くように配慮されている。特に、旋律の特徴を捉えやすいような図の工夫がされている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習内容を取り上げる場合には、「チャレンジ」「ステップアップ」として、発展的な学習内容であることが明示されている。	○	○
8	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配慮されていること。	どの楽曲、活動でも、二次元コードを用いて、タブレット等で学習することができている。	◎	◎
	エ コミュニケーションの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び紙本の様式、材料等が適切であること。	教科書のサイズは現行と同じAB版で適切である。書体は統一されており、見やすい。	○	○

□音楽の観点 教科書会社名 (教育芸術社)

音楽の観点		所見	研究会	調査研究委員会
1	表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わることでできる内容になっていること。	低学年は生活経験や遊びの中の音や音楽、また中学年は季節や祭りを感じられるもの、さらに高学年は生活の中でよく耳にする民謡など、どの学年も音や音楽と自然や社会などと関わるような内容になっている。 音楽的な見方・考え方を働かせながら活動できるような発問例が載っている。	◎	◎
2	曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現するために必要な技能を身に付けることができる内容になっていること。	ほぼ全ての楽曲や題材において、範唱やリコーダー演奏などの動画を視聴することができ、技能に関する資料が丁寧に示されている。	◎	◎
3	音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができる内容になっていること。特に「福岡スタジアム」に示されている「自学・自習」の観点から、進んで自分の考えをもち、友達と交流しながら、音楽表現を生み出したり、音楽を聴いてそのよさを見出したりできるような内容になっていること。	音楽表現を工夫したり、音楽を味わって聴いたりすることができ、挿絵やコメントが工夫されている。友達と一緒に音楽表現できるような活動もたくさん取り入れられている。特に吹き出しで表現例が示されているため、自分の考えをもったり、友達と交流したりする際のヒントとなる。	◎	◎
4	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培うことができる内容になっていること。	各領域と活動がバランスよく取り入れられている。「チャレンジ」「はってん」として、音楽の楽しさやよさを広げたり深めたりできるように示されている。	○	○
5	(共通事項)を要として各領域や分野の関連を図り、年間を通じて継続的に指導することができる内容になっていること。	目次には、題材のねらいや活動が示されており、一目で把握することができ、巻頭の「学習マップ」には領域ごとの学習内容が整理されている。楽曲ごとに主な(共通事項)も精選し色分けして明確に示され、ねらいを重点化して指導することができる。巻末には、「ふりかえり」のページがあり、既習のページへ戻ることもでき、活用がしやすい。	○	○
6	歌唱・器楽については、歌唱表現及び器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのような歌唱(演奏)をするかについて思いや意図をもつたり、曲想と音楽の構造や歌詞の内容、曲想と音楽の構造との関わりや多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方の関わりについて理解したり、思いや意図に合った表現をするために必要な技能を身に付けることができる内容になっていること。	ほぼ全ての楽曲や題材に掲載されている二次元コードによって、楽曲に対する思いや意図を得たり、必要な技能を身に付けることができるようになっている。また各ページに「考え」の「見つけよう」などの項目が示されており、子どもが曲想を感じたり、どのように聴けばいいかのヒントも示してある。	○	○
7	歌唱については、我が国や郷土・福島の音楽に愛着がもち、守り伝えようと、アジア・世界の国・地域の様々な価値を認められるよう、非通教材のほか、早い段階から、早い段階で選んで取り入れる内容になっていること。	低学年では日本の行事の歌やわらべ歌、中学年では日本の音楽、お祭りや民謡、高学年では民謡や日本と世界の音楽が、発達段階に応じて系統的に掲載されている。	○	○
8	中学年の器楽については、主旋律の演奏から和音を用いた演奏や低声部を充実した演奏や低声部から、児童が器楽や、箏など、無理なく取り組むことができ、我が国の音楽のよさを活かせる内容になっていること。また、高学年の器楽については、合奏において各声部の役割を生かした演奏ができるよう、楽器の特性を生かして合奏で取り楽器を選択することができる内容になっていること。	中学年の器楽では、鍵盤ハーモニカや低音楽器などが取り入れられており、和楽器については、箏の演奏が取り入れられている。 第6学年の器楽については、楽器の特性を生かして、それぞれのパートにふさわしい楽器を選択して演奏ができる内容が取り入れられている。	○	○
9	音楽づくりについては、音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら即興的に表現することを通して、音楽づくりの様々な発想を得たり、音や音楽へと構成することを通して、どのように全体を意図した音楽をつくるかについて思いや意図をもつたりすることができる内容になっていること。また、いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴や音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴を生み出すよさや面白さなどに関わらせたり理解することができる内容になっていること。さらに、発想を生かした表現や、思いや意図に合った表現をするために、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現したり、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくったりする技能を身に付けることができる内容になっていること。	音楽づくりの手順が明確に示されており、音楽を形づくっている要素や音楽の仕組みをもとに見通しをもって音楽をつくることができる。 また、二次元コードを用いて、各自で音を出しながら活動することができる。	◎	◎
10	鑑賞については、鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いたり、曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解したりすることができる内容になっていること。	音楽の特徴について、感じ取りたり鑑賞取りたりするための視点や発問が提示されている。旋律の動きや楽曲の構造を視覚的に捉えられるように、旋律線を図式化したものが示されている。	○	○



令和5年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

小学校 図画工作

調査研究の視点と主な審議内容（図画工作）

□各教科共通の観点について

2 内容に関する配慮事項

観点	主な審議内容
<p>ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。</p>	<p>◎【開隆堂】→研究会の評価どおり ただし審議を受け所見の記述を変更</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>開隆堂の所見に示されるキャリア教育の内容が、図工とつながっていないように感じるため、意図が伝わるように所見を変更した方がよい。</p> </div>

□教科の観点について

すべての観点において研究会の評価どおり

□各教科共通の観点（図工）教科書会社名（開隆堂出版）

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。		生活や社会の中の形や色など豊かに関わり表現の喜びを感じることができそうな内容になっている。	○
	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適切していること。		学年の発達段階に応じた材料・用具を使用した内容になっている。	○
2	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。		どの学年にも不足なく取り上げられている。	○
	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。		第1学年の冒頭は、幼児教育での活動の様子が続っており、今までの経験がながることを想起させる内容となっている。学年間の内容の系統も適切である。	○
3	イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。		どのページにも児童の言葉が吹き出して書かれているため、対話活動の充実につながる内容になっている。	○
	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生かせるキャリア教育の推進」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されていること。また、「徳田スタダート」に位置づけられている「自学・も、学を効果的に進めること」に児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。		「地域に学ぶ」という地域とつながる題材が紹介されており、多くの人とつながることができる。5・6年下の最後に、造形的な力を生かして社会で活躍している人々や仕事の紹介、児童へのメッセージがあり、図工工作で培った力が将来どのようにつながるかイメージできる。各学年の最初には、社会とのつながりが意識できる内容を掲載している。二水元コードがあることで、必要に応じて用具や材料の使い方を確認することができる。	◎
4	エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。		同じ題材で同じ用具・材料でも、様々な表現方法の作品が掲載されており、多様な方法での表現が認められている。そのため、互いの多様性を尊重できるように配慮されている。使われているキャラクターには「さんづけ」が用いられている。外国の子どもの作品も紹介されている。	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。		安全面に配慮が必要な題材のページには、安全についてわかりやすく示されている箇所がある。	○
5	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。		学習した内容を他教科へ関連・発展することができるような内容になっている。	○
	ア 全体の分量は、授業時数から見ても適切であること。		授業時数から見ても適切である。また、発達段階に応じて題材の内容と分量も整備されている。	○
6	イ 学習指導要領の内容及び内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に適切に配分されていること。		授業時数に照らして適切に配分されている。	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。		偏りなく調和がとれている。	○
7	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配慮されていること。		本文、作品、資料、写真、図等は、学習の深まりに有効に働くように配慮されている。	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。		発展的な学習内容がある場合は、囲んで明示されているため分かりやすい。造形遊びで表現したものを活用して新たな活動に発展させたり、絵や工作題材でつくった作品を使って発表会を開いたりできるように工夫されている。	○
8	ウ 1人1人台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるように、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配慮されていること。		教科書の最初にタブレットの使い方が紹介されている。また、どのページにも二水元コードが掲載されており、内容も紹介されていて使いやすい。(はじめに、振り回しシートなど)	◎
	エ ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の構式、材料等が適切であること。		写真が多く使用されているが、しっとりとした優しい用紙を使用しているため、児童の目を保護するような印刷になっている。	○

□ 図画工作の観点 教科書会社名 (開隆堂出版)

研究委員会	所見	図画工作の観点
◎	◎	1 表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色など豊かに関わることができる内容になっていること。
○	○	2 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくりだしたり表現したりすることができる内容になっていること。
○	○	3 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにしている内容になっていること。
◎	◎	4 つくりだす喜びや味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う内容になっていること。
○	○	5 表現及び鑑賞の活動において、共通に必要な資質・能力を示している〔共通事項〕の指導を行うことができている内容になっていること。
○	○	6 [A表現]の「発想や構想」と「技能」に関する事項を関連付けて扱うことができる内容になっていること。
○	○	7 工作に表すことの内容に相当する授業時数が、絵や立体に表すことの内容に相当する授業時数とおよそ等しくなる内容になっていること。
○	○	8 各学年の[A表現]及び[B鑑賞]の指導を通して、児童が〔共通事項〕「自分の感覚や行為を通して形や色などを理解すること」と「自分のイメージをもつこと」の関わりを気付くことができる内容になっていること。
○	○	9 児童が個性を生かして活動できるようにするため、表現+B1B5広く捉え、児童が経験したことを基に、自分に適した表現方法や材料、用具などを選ぶことができる内容になっていること。
○	○	10 〔共通事項〕の「知識」に関する指導に当たっては、次のア～クの事項に配慮し、必要に応じて、その後の学年で繰り返し取り上げる内容になっていること。 ア 第1学年及び第2学年においては、いろいろな形や色、触った感じなどを捉えること。 イ 第3学年及び第4学年においては、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを捉えること。 ウ 第5学年及び第6学年においては、動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを捉えること。
○	○	11 材料や用具については、必要に応じて、当該学年より前の学年において初歩的な形で取り上げたり、その後の学年で繰り返し取り上げたりすることができる内容になっていること。
○	○	12 思考力、判断力、表現力等を育成する観点から、〔共通事項〕に示す事項を視点として、感じたことや思ったこと、考えたことなどを、話したり聞いたり話し合ったりする、言葉で整理するなど、「福岡スタジアム」に示されている「とも学」の観点をふまえた言語活動が充実した内容になっていること。
○	○	13 事故防止のために、造形活動で使用する材料や用具、活動場所については、安全な扱い方については、指導する前、事前に点検するなど配慮した内容になっていること。

□各教科共通の観点 (図工) 教科書会社名 (日本文教出版)

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。			○
	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適切していること。			○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の目標に示す事項を不足なく取り上げていること。			○
	エ 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。			○
	オ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。			○
2	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」のために、多様な体系的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されていること。また、「福岡スタジアム」に位置づけられている「自学・自習」を効果的に行うことができるように児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	各学年に生活や社会を題材としたものがあるため、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色と豊かにかかわることができる内容となっている。		○
	エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。	描画材は同じでも用具やモチーフを段階的に変えているため、内容は発達段階に適合しているといえる。 全領域、不足なく取り上げている。 第1学年の冒頭は、幼児教育での活動の様子が載っており、今までの経験がながることを想起させる内容となっている。学年間の内容の系統も適切である。 鑑賞時の様子や子どものつぶやきが載っているため、言語活動の充実に配慮されている。		○
3	イ 全体的分量は、授業時数から見ると適切であること。	作品だけでなく、活動の様子の写真(つぶやき)が多い。そのため、活動の見通しが多岐にわたる。また、その写真が安直と共に活動している写真も多いため、協働性につながる。また、外国の子どもの二次元コードがあることで、必要に応じて用具や材料の使い方を確認することができる。		○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	同じ題材で同じ用具・材料でも、様々な表現方法の作品が掲載されており、多様な方法での表現が認められている。そのため、互いの多様性を尊重できるように配慮されている。また、外国の子どもの作品も紹介されている。		○
4	イ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	3-4年上「これかきたい小刀の使い方」に関して、子どもの目録の写真が使われている。「押し出すように」という言葉、算手を使っているところからも、安全面が重要視されている。用具(のこぎり)の使い方も、シンプルに構成されており、一目で理解できる工夫がされている。	◎	◎
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	他教科等との横断的な題材の扱われ方も、適切である。		○
5	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	全体的分量は適切である。 適切である。		○
	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	各領域ともに、適切である。 題材名が以前より記載されており、どのようなことを学ぶのか一目で分かるようになっている。(ワイヤー、水、糸のこの題材など) 発展的な内容であることは明示されていない。	◎	◎
6	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	教科書に二次元コードが掲載されており、用具の使い方を確認できる。(用具、動画、準備、仕組等)コマコマアニメ(5・6年上)、カートアプリ(全学年)等、ICTを活用できるアプリ開発がされている。	◎	◎
	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	色覚特性の有無に関わらず、全ての児童が等しく学べるように、コンドラストや文字の背景色など、カラーユニバーサルデザインに配慮して編集されている。題材名は見やすく、かつ楽しく取り組めるようにデザインされている。	◎	◎

□ 図画工作の観点 教科書会社名（日本文教出版）

研究	見	所	図画工作の観点
◎	◎	◎	表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色など豊かに関わることができる内容になっていること。
○	○	○	対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方など工夫して、創造的に表現したりすることができている内容になっていること。
◎	◎	◎	造形的なよき美しさ、美しさを、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができている内容になっていること。
◎	◎	◎	つくり出す喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情報を培う内容になっていること。
○	○	○	表現及び鑑賞の活動において、共通に必要な資質・能力を示している〔共通事項〕の指導を行うことができている内容になっていること。
◎	◎	◎	〔A表現〕の「発想や構想」と「技能」に関する事項を関連付けて取り扱うことができている内容になっていること。
○	○	○	工作に表すことの内容に配当する授業時数が、絵や立体に表すことの内容に配当する授業時数とおおよそ等しくなる内容になっていること。
○	○	○	各学年の〔A表現〕及び〔B鑑賞〕の指導を通して、原画が〔共通事項〕で「自分の感覚や行為を通して形や色などを理解すること」との「自分のイメージをもつこと」の関わりが図られている内容になっていること。
○	○	○	児童が個性を生かして活動できるようにするため、表現や鑑賞を幅広く捉え、児童が経験したことを基に、自分に適した表現方法や材料、用具などを選ぶことができる内容になっていること。
○	○	○	〔共通事項〕の「知識」に関する指導に当たっては、次のア～ウの事項に配慮し、必要に応じて、その後の学年で繰り返し取り上げる内容になっていること。 ア 第1学年及び第2学年においては、いろいろな形や色、触った感じなどを捉えること。 イ 第3学年及び第4学年においては、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを捉えること。 ウ 第5学年及び第6学年においては、動き、興行き、バランス、色の鮮やかさなどを捉えること。
○	○	○	材料や用具については、必要に応じて、当該学年より前の学年において初歩的な形で取り上げたり、その後の学年で繰り返し取り上げたりすることができている内容になっていること。
○	○	○	思考力、判断力、表現力等を育成する観点から、〔共通事項〕に示す事項を視点として、感じることや思ったこと、考えたことなどを、話したり聞いたり話し合ったりする、言葉で整理するなど、「横断的・縦断的」に示されている「とも学」の観点をもとに言語活動が充実した内容になっていること。
○	○	○	事故防止のために、造形活動で使用する材料や用具、活動場所については、安全な扱い方については指導する、事前に点検するなど配慮した内容になっていること。



令和5年度
福岡市教科用図書調査研究委員会
調査研究報告書（答申）

小学校 家庭

調査研究の視点と主な審議内容（家庭）

□各教科共通の観点について、

すべての観点において研究会の評価どおり

□教科の観点について

主な審議内容	
観点	
3	<p>実際の生活で生かす場面を設定し、自分の生活が家庭や地域と深く関わっていることを認識したり、自分の成長を自覚して実践する喜びに気付いたりすることのできる主体的な学習活動を充実させる内容となっていること。</p>
	<p>◎【東京書籍】○【開隆堂】→研究会の評価どおり ただし審議を受け所見の記述を変更</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>2年間の学習の見通しと、2年間で学んだことの振り返りが巻頭と巻末に掲載されているならば、巻末という文言も入れた方がよい。</p> </div>

□各教科共通の観点 (家庭) 教科書会社名 (東京書籍)

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。			○
	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適合していること。			○
2	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。			○
	エ 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。			○
3	イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。			○
	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「種かな学力の向上」及び「グローバル社会を生かせるキャリア教育の推進」のために、多様な体系的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されていること。また、「福岡スタンダード」に位置づけられている「自学・ども学」を効果的に行うことができるように児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。			○
4	エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。			○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。			◎
5	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。			○
	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。			○
6	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図案の内容に適切に配分されていること。			○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りなく調和がとれていること。			○
7	ア 本文、問題、読解文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配慮されていること。			○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。			○
8	ウ 1人1人端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配慮されていること。			◎
	エ ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図表として、すべての児童が使用しやすいうように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。			○

□家庭の観点 教科書会社名 (東京書籍)

家庭の観点	見	研究会 調査研究委員会
生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、家庭生活を大いに支える心構えを育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしよう工夫する実践的な態度を養う内容になっていること。	内容ごとにもつべき生活の観点(見方・考え方)が焦点化されており、児童に分かりやすい言葉で説明されている。家庭生活を支える仕事を実践する喜びを味わったり、自分で作品をつくり上げたことによる達成感や自信を積み重ねていったりすることができるといった具体的な内容が示されている。調理や製作を行う題材では、学習した内容の活用例が複数示されていることで、各自の状況に応じた家庭実践につなげやすい。	○
2 他教科等との関連を明確にし、中学校の学習を見据え、系統的に指導ができる内容となっていること。	[B衣食住の生活]、[C消費生活・環境]で学習した内容について、[A家族・家庭生活]と関連させることができるように学習したことで、できることになったことを生かす家庭・地域での実践につなげていく内容となっている。関連する内容のページごとに教科・学年・内容・単元が明記されており、他教科との関連を図りながら指導できるようにしている。同じマークで中学校の技術・家庭科の「分野・学習内容」についても図ることができる。	○
3 実際の生活で生かす場面を設定し、自分の生活が家庭や地域と深く関わっていることを認識したり、自分の成長を自覚して実践する喜びを味わったりすることができる主体的な学習活動を充実させる内容となっていること。	知識・技能の習得のみでなく、実生活で生かしていくための、計画・家庭実践の場面で設定されている。巻頭には、2年間の学習で、家族の一員としての自分の役割が示されている。また、巻頭の成長にどう関わっていくのか、地域に生かせる一人として目を向けさせる構成になっている。また、巻頭の成長の記録で、2年間でできるようになったことを振り返り、成長を自覚する中で、中学校の学習への展望をもたせることができる。	◎
4 「福岡スタンダード」に示されている「とも学」の観点から、児童同士で協働したり、意見を共有して互いの考えを深めたり、家族や身近な人々などの会話を通して考えを明確にしたたり、対話的な学習活動を充実させる内容となっていること。	考える、調べる、やってみる等、あらゆる活動の中や活動後に話し合いが位置づけられている。調理において、親戚から調理 後片付けまでのよい点 課題点 思い出し作り方のポイント、家族へのインタビューでの家族の好みや地域の特徴等を調べる活動が提示されている。製作においては、できあがった作品の工夫したところや使い方を交流しながら工夫点を考えるなど、交流活動を生かした課題解決が可能な内容となっている。	○
5 児童が日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、その解決に向けて解決方法を考え、計画を立てて実践し、その結果を評価・改善し、更に家庭や地域で実践するなどの一連の学習過程の中で、「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせながら、課題の解決に向けて自分なりに考え、表現するなどして、資力・能力を身につける内容となっていること。	全ての内容において、①生活の中にある課題を見つける。(学習の見直し)②課題解決のための計画・実践活動を行う。(自分らしい課題解決の方法)③活動を振り返って評価・改善(新たな課題の気づき)というサイクルで学習が展開しているように示されている。さらに学校での学びに終わらずに、できるようなったことを生かし、家庭や地域の人々にかかわりながら実践を行うことで、生活をよりよく変える工夫について考えをもつことができる内容となっている。	○
6 [A家族・家庭生活]の「自分の成長と家族・家庭生活」については、ガイドランスにおいて、生活の営みに係る見方・考え方に触れ、[B衣食住の生活] [C消費生活・環境]の学習と関連させて扱う内容になっていること。	ガイドランスにおいて、生活をどのようなものにしたいか、生活を見つめるときの見方・考え方が示されており、その観点で生活を見つめると、生活の様子について個々の気づきももてるようになっている。学習の進め方においては、課題を見→解決・実践→評価・改善のどのステップにおいても、交流しながら考えを深めることができるよう示されている。	○
7 [B衣食住の生活]の「調理の基礎」及び「生活を豊かにするための布を用いた製作」については、学習の効果を高めるため、2学年にわたって取り扱い、平易なものから段階的に学習できる内容になっていること。	衣食住の、どの内容においても、5年生で基礎的な内容(基本となる知識・技術面で平易なもの)と出合わせ、その経験をもとに段階を超えながら、2年間で無理なくスキルアップできる学習内容となっている。(衣・…手縫い・ミシン縫い、手縫いのよさを生かした小物づくり→目的に合った袋の製作等)	○
8 [C消費生活・環境]については、[A家族・家庭生活]の(3)「家族や地域の人々との関わり」や、[B衣食住の生活]の(2)「調理の基礎」、(5)「生活を豊かにするための布を用いた製作」及び(6)「快適な住まい方」などと関連を図り、生活で使う身近な物などを取り上げ、児童や家族の生活と結び付けて考え、実践的に学習できる内容になっていること。	生活の中にある具体的な買い物の場面を想起させ、有形物を購入し消費することや具体的に形のない商品(交通機関の利用、CDレンタル、散策)にもお金を支払い利用することや買い物として認識でき、売買契約の基礎をつかむことができる内容になっている。生活の中の場面をとらえて想起する活動を通して、ABどちらの内容においても消費者として気を付けるべき点が示されている。	○
9 実習については、事故の防止及び安全・衛生に留意する内容になっていること。	各時間の中で、大切にすべき安全(衛生面を含む)指導については、マーク表示+注視すべき内容が分かりやすく示されている。特に安全に関する部分はマーク表示しており自立して学習が可能な内容である。安全や衛生の使い方を玉結び・玉どめの手順など、インターネットを活用した学習が可能である。安全や衛生に留意した実習(調理や製作)については巻末資料で丁寧に示されている。	◎
10 家庭や地域との連携を図り、児童が身に付けた知識及び技能などを日常生活に活用することができる内容になっていること。	学んだことを生かした「家庭・地域実践の進め方ページ」が設けられている。「生活を豊かにしよう!」夏休みやおくチャレンジ!といったページからも関わりを示されており、物々しくしてしまいうるため、手縫い・小物入れを例として具体的な紹介されている。	○

□各教科共通の観点（家庭）教科書会社名（開隆堂出版）

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。 イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応していること。		○	○
2	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。 エ 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。 イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。 ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されていることと、同時に、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・ども字」を効果的に行うことができるように児童の興味・関心を生かし、主体的・効率的で深い学びが促されるよう配慮されていること。 エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。 オ 体験活動、実験、実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。 カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。 ア 全体の分量は、授業時数から見ても適切であること。	学習の順序を①「見つける・気づく」②「わかる・できる」③「生かす・深める」と示されており、題材の中でもその順序が分かるようになり、見直しをもつことができる。 じゃがいもをゆでる調理について、調理学習の始めの段階で取り扱われているが、ゆでた後に皮をむく手順になっており、発達段階を考えたものになっている。6年の時期（食事件の計画）に載っているところでは、包丁を使った向き方や、ピーラーを使った皮の向き方も載っている。 2年間で[A家族・家庭生活][B衣食住の生活][C消費生活・環境]の内容が全て取り扱われるようになっている。 [A家族・家庭生活][B衣食住の生活][C消費生活・環境]に関する学習が、5年と6年にそれぞれ題材が位置づけられており、系統的・発展的な授業ができるようになっている。 「開べよう」「考えよう」「話し合おう」「発表しよう」「まとめよう」が各内容に応じて設定されており、言語活用の充実が図られるものになっている。 どの題材も①「気づく・見つける」→②「わかる・できる」→③「生かす・深める」の順で問題解決的な学習が展開できるように構成されている。その中に、題材に児童が興味・関心をもつて学習に臨むことができるような実験方法や資料が提示されている。また、話し合う話題についても示されており、題材に応じた対話的な学習も展開できるものとなっている。 巻末の表にははみや針、包丁の使い方は、「右利きの場合」と「左利きの場合」が載っている。写真やイラストには多様な背景等に配慮してある。 調理や製作などの実習を伴う題材には安全に関する内容が書かれているが、題材ごとの配色と同系色のところがあり、特に食に関する内容の部分では、目に留まりにくい。 発展的な学習内容として、SDGs、防災、キャリア、プログラミングがあるが、児童の負担になるものではない。発展的な学習内容として「日本や世界のホットタイム」他の国の過ごし方等、食文化についても記載がある。 それぞれの題材に必要な知識・技能に必要資料があり、適切な量であると考える。資料が多く感じる。 [A家族・家庭生活][B衣食住の生活][C消費生活・環境]の題材の順番に応じて学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が配分されている。専門的な内容が多く記載されている。 [A家族・家庭生活][B衣食住の生活][C消費生活・環境]の内容が2学年で隔りなく配置されている。 案内のクロージャーが出てきて、見方・考え方を示している場面があり、自分の生活を多様な視点から考えられるように工夫してある。 発展的な学習内容には「発展」のマークがついている。巻頭ページに「発展的な学習内容は、学習指導要領に示されていない内容なので、すべての児童が一律に学習するものではありません」という記載がある。 繰り返し見ることができるよう、実技動画がある。毎ページに二次元コードが記載されているが、掲載は題材を通してのものとなっている。調理の仕方やミシンの使い方など、効果的に情報を得ることができる。 従来のサイズより大きくしている（A4判→A4判）。巻頭、巻末に折り込みの厚紙が使用されている。文字、情報量が多い。	○	○
3	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。 ウ 各分野、領域及び内容に隔りがなく調和がとれていること。		○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配慮されていること。 イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。 ウ 1人1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるように、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。		○	○
5	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。		○	○

□家庭の観点 教科書会社名（開隆堂出版）

家庭の観点		所	研究会	調査研究委員会
生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、家庭生活を大切にする心構えを育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う内容になっていること。	生活の見方・考え方の4つの視点を多様化させて学習するほか分かるようにページに表記されている。また、学習した内容を家庭生活で実践できるように具体的な活用例が記載されているため、児童によって家庭環境が、やすくなる。さらに、家族からの評価を受けることで家族の一員としての自覚をもち、生活を自分の手で工夫する楽しさや喜びを感じることができると考えられる。		○	○
2 他教科等との関連を明確にし、中学校の学習を見据え、系統的に指導ができる内容となっていること。	[B]衣食住の生活、[C]消費生活・環境の題材で学習した内容を[A]家族・家庭生活の学習の際に振り返り、家族や地域での実践につなげることができている内容になっている。また、他教科との関連は、その程度「学年」教科「内容」が表記され、関連付けて学習ができるようになっている。中学校の学習については6年生の最後に小学校の家庭科と中学校技術家庭科「家庭科分野」とのつながりを示している。		○	○
3 実際の生活で生かす場面を設定し、自分の生活が家族や地域と深く関わっていることを認識したり、自分の成長を自覚して実践する喜びに気付いたりすることができる主体的な学習活動を充実させていること。	特に[A]家族・家庭生活の学習では、家族や地域の人との関わりについて振り返り、その程度深く関わっていることに気づくことができる内容になっている。また、家族や地域で実践する場面を創出することで、家族や地域の人からの評価を受け、自分の成長を自覚し、さらに継続への意欲を高めることができるようになっている。		○	○
4 「福岡スタジアム」に示されている「とも学」の観点から、児童同士で協働したり、意見を共有して互いの考えを深めたり、家族や身近な人々などとの会話を通して考えを明確にし、課題の解決に向けて自分なりに考え、表現するなどして、学習活動を充実させる内容となっていること。	各題材で必ず対話的な学習活動が組み込まれている。友達と話し合っ合って課題を見つけたら、工夫の仕方考えたり、振り返りを行ったりする活動がある。また、家族にインタビューをしたり、アドバイスをもらって学習に生かしたり、実践を充実させたりできる内容になっている。		○	○
5 児童が日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、その解決に向けて解決方法を考え、計画を立てて実践し、その結果を評価・改善し、更に家族や地域で実践するなどの一連の学習過程の中で、「生活の営みに係る見方・考え方を働かせながら、課題の解決に向けて自分なりに考え、表現するなどして、学習活動を充実させる内容」になっていること。	ガイダンスの家庭科学習の進め方に沿った学習過程(①みつける・気づく②わかる・できる ③生かす・深める)が分かるように、「学習のめあて」と学習内容が3段階になっている。児童にとっても、どの段階の学習を行っているのかが分かる。また、題材の最後には「生活に生かす」という欄があり、家族や地域での実践につなげられている。		○	○
6 [A]家族・家庭生活の「自分の成長と家族・家庭生活」については、ガイダンスにおいて、生活の営みに係る見方・考え方に触れ、[B]衣食住の生活、[C]消費生活・環境の学習と関連させて扱っていること。	ガイダンスにおいて、家庭科学習の進め方について示されている。生活の見方・考え方を4つの視点に分け、それぞれ分けて学習し、言葉で記載されているが、特に[A]家族・家庭生活の内容では、全ての視点で示し、重視する見方・考え方が分かっていくので、教科書を使用する教師がきちんと理解して、補足説明をする必要がある。		△	△
7 [B]衣食住の生活の「調理の基礎」及び「生活を豊かにするための布を用いた製作」については、学習の効果を高めるため、2学年にわたって取り扱い、平易なものから段階的に学習できる内容になっていること。	衣食住の内容において、2年間で段階的な内容が扱われている。 「衣」…手縫い→ミシン(平面→袋) 「食」…にも手縫いがあるが、縫うだけの平易な物 「住」においては、包丁の使い方の調理の仕方 のように2学年にわたって平易なものから学習していくことで児童が技能を身に付けやすいようになっている。		○	○
8 [C]消費生活・環境については、[A]家族・家庭生活の(3)「家族や地域の人々との関わりや、[B]衣食住の生活の(2)「調理の基礎」、(5)「生活を豊かにするための布を用いた製作」及び(6)「快適な住まい方」などと関連を深め、生活で使う身近な物などを取り上げ、児童や家族の生活と結び付けて考え、実践的に学習できる内容になっていること。	環境などを考慮して買取り前に考えること、また買取り物の仕組みについて考えさせる場面がある。現金だけでなくクレジットカードやICカードなどの例を挙げたり、通信販売についても触れている。 [A]家族・家庭生活、[B]衣食住の生活でも触れられており、家庭生活のどの場面でも生かすことができている内容になっている。		○	○
9 実習については、事故の防止及び安全・衛生に留意する内容になっていること。	安全・衛生面に關しては、その程度具体的な場面を挙げて細かく丁寧に記載されている。また、重要な内容だとわかるように目立つように赤で記載されているが、題材によっては目立たないところがある。		○	○
10 家族や地域との連携を図り、児童が身に付けた知識及び技能などを日常生活に活用することができる内容になっていること。	「ラップトライ！」というページに、具体的な活用場面や方法がいくつか挙げられており、児童が実践しやすいようになっている。また、学習した知識や技能をそのまま活用するだけでなく、生活の問題を見出し、発展させて実践できるようにしている。		○	○



令和5年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

小学校 保健

調査研究の視点と主な審議内容（保健）

□各教科共通の観点について

4 使用上の便宜

主な審議内容	
ウ	<p>観点</p> <p>1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。</p>
	<p>◎【大日本図書】△【文教社】→研究会の評価どおり ただし審議を受け所見の記述を変更</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>大日本図書の◎の理由は、学習内容の定着に関する内容から発展的な内容まで多様な資料を掲載しているということだが、これに分かるように所見の見直しを行った方がよい。</p> </div>

□教科の観点について

主な審議内容	
6	<p>観点 健康な生活、体の発育・発達、心の健康、けがの防止及び病気の予防について取り上げていること。また、事例などを題材にした話し合いや、実習、実験など、健康に関する課題を解決する学習活動ができるような内容になっていること。</p>
	<p>◎【光文書院】→研究会の評価どおり 教室で学んだことを、日常生活に活かし、習慣化を図るという視点は、健康教育を進めるにあたり重要である。</p>

□各教科共通の観点（保健） 教科書会社名（東京書籍）

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフの実現につながるものとなっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応していること。	各学年の発達段階に即した内容・配列となっている。	○	○
ウ	学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	不足なく取り上げている。	○	○
	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	学習の内容に合わせて、他学年他教科との関連について幅広く記載があるとともに、各ページでも関連について確認できる構成となっている。	◎	◎
イ	言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	単元において自分の考えを書く活動および伝えたり、説明したりする活動が位置付けられており、言語活動の充実について配慮されている。	○	○
	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されていること、「福岡スタジアム」に位置づけられている「自学・自習」を効果的に行うことができるように児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	児童の気づきを引き出す学習課題が設定されており、自ら課題を発見し主体的に学習に取り組むことができるようになっている。学習のまとめの活動では、「説明する」「話し合う」「ほかの人の意見を聞いて考えたことや、分かったことを書く」など、対話的な活動が設定されている。	○	○
エ	「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。	「性と自分らしさ」の中で、多様な性について触れられている。また、バラスポーツやユニバーサルデザインなどの紹介などがある。表紙や挿絵でも多様性に触れる内容となっている。	◎	◎
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されている。	○	○
カ	学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を起えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	単元末に取り上げられている発展的な学習内容について、学習指導要領の趣旨を逸脱した内容はないが、発展的な学習の内容が多く、ともすると児童の負担過重となる可能性もある。	○	○
	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	情報量が多く、適切であると言えない。使い方次第である。	△	△
イ	学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	3、4年および5、6年の内容の取扱いに示された事項が、標準時数と照らして適切に配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	各分野において、偏りなく配分されている。	○	○
ア	本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配慮されていること。	写真、イラスト、図、本文等、学習の深まりに有効に働くよう適切に配慮されている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	単元末に「資料」「はってん」として位置付けられ、明確に区別できる。	○	○
ウ	1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	教科書に載っている内容をアニメーションでみることができ、さらに詳しく知ることができる資料やワークシートなどのリンクの種類も多様である。	○	○
	印刷・製本	毎時間同じ紙面で構成され、活動場面と本文が明確に区別されている。本文は文節の切れ目での改行、ユニバーサルデザインフォントの使用などの工夫がみられる。重要な用語を太字表記している。	○	○

□保健の観点 教科書会社名 (東京書籍)

保健の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進するための資質・能力を育成する内容となっていること。	学習の進め方として「ステップ1～4」が明示しており、単元を見通した学習展開が可能である。調べる活動・解決する活動があり、生涯にわたって心身の健康を保持増進するための資質能力を育成する内容となっている。	○	○
2	身近な生活における健康・安全について理解するとともに、その技能を身に付けるようにする内容となっていること。	具体例が示されており、児童の発達段階に合った構成となっている。2次元コードを利用することで、技能の習得につながる動画を視聴することができる。	○	○
3	「福岡スタンダード」に示されている「自学・とも学」の観点から、健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う内容となっていること。	「調べる・解決する」活動が設定してあることで、健康についての自己の課題を見付け、解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う内容となっている。	○	○
4	健康の保持増進を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う内容となっていること。	「主とめる・生かす」の活動で、自分の生活を振り返り、見直す活動があることで、児童が楽しく明るい生活を営んでいこうとする態度を養う内容構成である。	○	○
5	運動、食事、休養及び睡眠については、健全な食生活の基礎となる食育推進の観点も踏まえつつ、健康的な生活習慣の形成に結びつくよう配慮するとともに、保健を除く第3学年以上の各領域及び学校給食に関する指導と関連を図った内容になっていること。	給食の栄養バランスについて様々な資料で触れてあり、健康三原則(運動・食事・睡眠)の観点も踏まえつつ、学校給食に関する指導と関連を図った内容になっている。	○	○
6	健康な生活、体の発育・発達、心の健康、けがの防止及び病気の予防について取り上げていること。また、事例などを題材にした話し合いや、実習、実験など、健康に関する課題を解決する学習活動ができるような内容になっていること。	「調べる・解決する」や「深める・伝える」の中に、話し合い活動やロールプレイができるような資料が掲載されており、健康に関する課題を解決する学習活動ができるような内容になっている。	○	○

□各教科共通の観点（保健） 教科書会社名（大日本図書）

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会
1	<p>ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。</p> <p>イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応していること。</p> <p>ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の内容及び言語の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。</p>	<p>心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフの実現につながるものとなっている。</p> <p>各学年の発達段階に即した内容・配列となっている。</p> <p>不足なく取り上げている。</p> <p>他学年・他教科及び中学校の保健までの関連について分ける内容となっている。</p> <p>全単元において自分の考えを書く活動および伝えたり、説明したりする活動が位置付けられており、言語活動の充実について配慮されている。</p> <p>口絵では、児童が日常生活と保健との結びつきを意識させ、主体的に学習に取り組む態度が養われるような工夫がみられる。課題を発見する活動、課題を解決する活動、学習したことを活かす活動の中で、友達との話し合いを位置づけ、思考を広げ深める学習が実現できるように配慮されている。</p>	○	○
2	<p>ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。</p> <p>イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。</p> <p>ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキヤリアップ教育の推進」のために、多様な体系的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されていること、「福岡スタジアム」に位置づけられている「自学・自習」を効果的に行うことができるよう、児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。</p> <p>エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。</p> <p>オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。</p> <p>カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を扱った事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。</p>	<p>「心と体のつながり」の中で、いろいろなる不安や悩みの一つとしてジェンダーの一つとして紹介され、多様性について気づくことができる内容となっている。</p> <p>体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されている。</p> <p>単元末に取り上げられている発展的な学習内容は、資料のページと一緒に集約されている。児童の学習状況に応じて活用できるように位置付けられている。</p>	○	○
3	<p>ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。</p> <p>イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。</p> <p>ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。</p>	<p>適切であると言える。</p> <p>3、4年および5、6年の内容の取扱いに示された事項が、標準時数と照らして適切に配分されている。</p> <p>各分野において、偏りなく配分されている。</p>	○	○
4	<p>ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配慮されていること。</p> <p>イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。</p> <p>ウ 1人1人端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。</p>	<p>写真、イラスト、図、本文等、学習内容の定着に必要な内容が挙げられている。</p> <p>単元末に「もっと知りたい」というコーナーが位置付けられ、明確に区別できる。</p> <p>二次元コードを読み取ると、学習内容の定着に関する内容から発展的な学習内容まで多様な資料にアクセスすることができる。児童が興味をもったことを調べるときに、役立つ内容となっている。</p>	○	○
5	<p>ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使いやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。</p>	<p>読みやすい紙面となるよう改訂位置に工夫が見られる。本文はUDフォントや配色の工夫がなされていて、読みやすくなっている。</p>	○	○

□保健の観点 教科書会社名 (大日本図書)

保健の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進するための資質・能力を育成する内容となっていること。	内容が身近なものに感じられるよう、イラストや内容を工夫してある。「もっと知りたい」という発展のページを設定し自身の経験と結び付けようとする工夫を通して、生涯にわたって心身の健康を保持増進するための資質・能力を育成する内容となっている。	○	○
2	身近な生活における健康・安全について理解するとともに、その技能を身に付けるようにする内容となっていること。	5年「心の健康」において、深呼吸などの不安や悩みへの対処法について、別ページに補足資料はあるが、簡単なイラストと解説文でポイントを押さえづらい面がある。	△	△
3	「福岡スタンダード」に示されている「自学・とも学」の観点から、健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う内容となっていること。	話し合う活動の中に自分の考えを書き欄が用意されており、解決に向けて思考・判断するとともに他者に伝える力を養う内容となっている。	○	○
4	健康の保持増進を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う内容となっていること。	単元の終末に、学習したことなどをどのように生かすか考える活動が設定されており、楽しく明るい生活を営む態度を養う内容となっている。	○	○
5	運動・食事・休養及び睡眠については、健全な食生活の基礎となる食育推進の観点も踏まえつつ、健康的な生活習慣の形成に結びつくよう配慮するとともに、保健を除く第3学年以上の各領域及び学校給食に関する指導と関連を図った内容となっていること。	3・4年では、学校給食の栄養バランスについて紹介しており、健康三原則(運動・食事・睡眠)の視点も踏まえつつ、学校給食に関する指導と関連を図った内容になっている。	○	○
6	健康な生活、体の発育・発達、心の健康、けがの防止及び病気の予防について取り上げていること。また、事例などを題材にした話し合いや、実習、実験など、健康に関する課題を解決することができるような内容になっていること。	「もっと知りたい」の中に、話し合い活動や実習ができるような資料が掲載されており、健康に関する課題を解決する学習活動ができるような内容になっている。	○	○

□各教科共通の観点（保健）教科書会社名（大修館）

各教科共通の観点		見所	研究会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフの実現につながるものとなっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適應していること。	各学年の発達段階に即した内容・配列となっている。	○	○
2	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	不足なく取り上げている。	○	○
	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	道徳、家庭科、社会科学等の各教科の関連について、系統的・発展的に指導できる内容である。	○	○
3	イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	全単元において自分の考えを書く活動および伝えたり、説明したりする活動が位置付けられており、言語活動の充実について配慮されている。	○	○
	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きていくための、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されていること」に「福岡スタグナード」に位置づけられている「自学・自習」を効果的に進め、互いに児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	単元の導入で、著名人を取り上げ、キャラクターとの対話を通して学習内容に興味・関心をもって主体的な学びがスタートできるようにしている。各単元において、互いの考えを共有したり、思考を広げたりする対話的な活動の設定があり、深い学びを促す配慮がされている。	○	○
4	エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。	多くの単元で多様性について児童が触れることができる内容構成になっている。「思春期の体の変化」では、発育・発達について個人差があることを取り上げている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されている。	○	○
5	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	単元末に取り上げられている発展的な学習内容について、学習指導要領の趣旨を逸脱した内容はない。児童が保健の見方・考え方を働かせることができる内容が位置付けられている。	○	○
	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	適切であると言える。	○	○
6	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	3、4年および5、6年の内容の取扱いに示された事項が、標準時数と照らして適切に配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りなく調和がとれていること。	各分野において、偏りなく配分されている。	○	○
7	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働かすように配慮されていること。	写真、イラスト、図、本文等、学習の深まりに有効に働くよう適切に配慮されている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることを明示されていること。	単元末にもっと学びを広げよう深めようというコーナーが位置付けられ、明確に区別されている。	○	○
8	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	二次元コードからアクセスすると、教科書の内容を解説するだけでなく、児童が興味をもてるように動画クイズに挑戦することができる内容となっている。	○	○
	ユニバーサルデザインへの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使用しやすいうように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	毎時間同じ紙面で構成されていて、活動場面と本文が明確に区別されている。本文は文節の切れ目で改行しているので読みやすい。重要な用語を太字表記にしている。	○	○

□保健の観点 教科書会社名（大修館）

保健の観点		所見	研究会	調査研究委員会
1	保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進するための資質・能力を育成する内容となっていること。	単元の冒頭にスポーツ選手等へのインタビューを掲載し、児童に学習の見通しと意義を伝えさせながら、生涯にわたって心身の健康を保持増進することの大切さを伝えられている。また、課題解決のための3つのステップが明示されていることが児童にとってわかりやすい。	◎	◎
2	身近な生活における健康・安全について理解するとともに、その技能を身に付けるようにする内容となっていること。	具体例が示されており、児童の発達段階に合った構成となっている。「もつと学びを広げよう、深めよう」を活用することで、技能を習得させるための工夫がなされている。	○	○
3	「福岡スタンダード」に示されている「自学・ども学」の観点から、健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う内容となっていること。	「考えよう」の活動が設定してあることで、健康についての自己の課題を見付け、解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う内容となっている。	○	○
4	健康の保持増進を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う内容となっていること。	まとめる段階で、「生かそう、伝えよう」のコーナーが設けてあり、その中で必ず自分の生活を振り返り、見直す活動があることで、児童が楽しく明るい生活を営んでいくという態度を養う内容構成である。	○	○
5	運動、食事、休養及び睡眠については、健全な食生活の基礎となる食育推進の観点も踏まえつつ、健康的な生活習慣の形成に結びつくよう配慮するとともに、保健を除く第3学年以上の各領域及び学校給食に関する指導と関連を図った内容になっていること。	給食の栄養バランスについて触れてはいるが、健康三原則（運動・食事・睡眠）の視点は踏まえつつ、学校給食に関する指導と関連を図った内容になっているとは言い難い。	△	△
6	健康な生活、体の発育・発達、心の健康、けがの防止及び病気の予防について取り上げていること。また、事例などを題材にした話し合いや、実習、実験など、健康に関する課題を解決することができるような内容になっていること。	「やってみよう」の中に、学んだ知識や技能を実習するための手順が示されており、健康に関する課題を解決する学習活動ができるような内容になっている。	○	○

□各教科共通の観点（保健） 教科書会社名（文教社）

各教科共通の観点		見	研究会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフの実現につながるものとなっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応していること。	各学年の発達段階に即した内容・配列となっている。	○	○
ウ	学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	不足なく取り上げている。	○	○
	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	各教科各学年相互間の関連を示す記述が、十分ではない。	△	△
イ	言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	各単元において自分の考えを書く活動が位置付けられおり、言語活動の充実について配慮されている。	○	○
	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きていくための教育の推進」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されていること、また、「福岡スタンダード」に位置づけられている「自学・自習」を効果的に進められるよう、児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	毎時間「もう1歩先の自分へ」で、ある場面に對する自分の考えを書く活動が設定されており、児童の関心に基づいた学習活動が展開できる。自ら課題を発見し、これを解決するための主体的な学びが促される内容となっている。	○	○
エ	「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。	「私のすくすく宣言」「私のすくすく宣言」等が単元の終末に位置付けられている。ここで書いた自分の思いを伝え合う中で、多様性に気づくことができる。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されている。	○	○
カ	学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	単元末に取り上げられている発展的な学習内容について、学習指導要領の趣旨を逸脱した内容はないが、単元によって取り扱っている内容の情報量が異なる。	△	△
	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	適切であると言える。	○	○
イ	学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	3、4年および5、6年の内容の取扱いに示された事項が、標準時数と照らして適切に配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	各分野において、偏りなく配分されている。	○	○
ア	本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	写真、イラスト、図、本文等、学習の深まりに有効に働くよう適切に配置されている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	単元末に「もっともっとこう課」というコーナーが位置付けられ、明確に区別されている。	○	○
ウ	1人1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	全ての二次元コードが会社WEBリンク集のトップページにつながるため、そこから対象のページを探す必要がある。	△	△
	エ ニューバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図表として、すべての原画が使用しやすいうように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び数本の様式、材料等が適切であること。	重要な内容については、網掛けで表記したり、太字で表記したりと配慮されている。	○	○

□保健の観点 教科書会社名 (文教社)

保健の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進するための資質・能力を育成する内容となっていること。	単元の冒頭に「学習のめあて」という項目があり、本時のMENUとして学習の進め方が明示されているものの、その中にさらに「ミッション」や「ステージ」という細分化された過程が混在しており、児童が見通しを持ちづらい面がある。	△	△
2	身近な生活における健康・安全について理解するとともに、その技能を身に付けるようにする内容となっていること。	5年「心の健康」[けがの防止]について、不安や悩みへの対処やけがの防止において技能についての記載はあるものの、チェック表やより返りをする欄がなく、自分で実際に自分で試してみたり、生活に活かしたりする意欲を高めるににくい。	△	△
3	「福岡スタジアム」に示されている「自学・とも学」の観点から、健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う内容となっていること。	学習展開の中に書く活動と話し合う活動が位置付けられており、他者に伝える力を養う内容となっている。	○	○
4	健康の保持増進を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う内容となっていること。	「もっと考えよう課」「もっと知ろう課」など、学んだことをこれからの生活を営む態度を養う内容となっている。	○	○
5	運動、食事、休養及び睡眠については、健全な食生活の基礎となる食育推進の観点も踏まえつつ、健康的な生活習慣の形成に結びつくよう配慮するとともに、保健を除く第3学年以上の各領域及び学校給食に関する指導と関連を図った内容となっていること。	学校給食の栄養バランスが整えられていることが説明されており、健康三原則(運動・食事・睡眠)の視点も踏まえつつ、学校給食に関する指導と関連を図った内容となっている。	○	○
6	健康な生活、体の発育・発達、心の健康、けがの防止及び病気の予防について取り上げていること。また、事例などを題材にした話し合いや、実習、実験など、健康に関する課題を解決することができるような内容になっていること。	事例をもとに自分の考えをまとめるための資料が用意されており、健康に関する課題を解決する学習活動ができるような内容になっている。	○	○

□各教科共通の観点（保健） 教科書会社名（光文書院）

各教科共通の観点		見	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	心と体を一体としてとらえ、生進にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフの実現につながるものとなっている。	○
	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適合していること。	各学年の発達段階に即した内容・配列となっている。	○
ウ	学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	不足なく取り上げている。	○
	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	道徳、家庭科、社会科学等の各教科及び中学校の保健までの関連について、系統的・発展的に指導できる内容である。	○
イ	言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	全単元において自分の考えを書き、話し合っって考える活動が位置付けられている。他者に伝える活動も提示することで、言語活動の充実について配慮されている。	○
	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生き生きとした教育の推進」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されていることにも、「福岡スタジアム」に位置づけられている「自学・とも学」を効果的に行うことができるよう児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	はじめに自分の生活をふり振り返り、問題意識を高めてから学習課題を提示することで、児童が関心を持って主体的に学習を取り組めるようにしている。「話し合おう」や「学んだことを生かそう」の項目で他者に伝える活動を提示することで、対話的で深い学習となるよう配慮がされている。	◎
エ	「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。	トランプアスリート、車椅子バドミントンの選手のインタビューが巻頭であり、児童の興味・関心を高め、多様性についての必要な配慮がされている。	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されている。	○
カ	学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	単元末に取り上げられている発展的な学習内容について、学習指導要領の趣旨を逸脱した内容はない。さらに児童が保健の見方・考え方を働かせることができる内容が位置付けられている。	○
	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	適切であると言える。	○
イ	学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	3、4年および5、6年の内容の取扱いに示された事項が、標準時数と照らして適切に配分されている。	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	各分野において、偏りなく配分されている。	○
ア	本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	写真、イラスト、図、本文等、学習の深まりに有効に働くよう適切に配置されている。	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	単元末に「さらに広げよう深めよう」というコーナーが位置付けられ、明確に区別できている。	○
ウ	1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析ができるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	二次元コードから教科書よりさらにくわしい資料を見ることができている。資料の中にさらに二次元コードがある。	○
	エ ユニバーサルデザインへの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使用しやすいうように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	見やすい色づかい、文字の大きさ、字体等は適切である。文節の切れ目で改行することで、内容を読解しやすく工夫がされている。	○

□保健の観点 教科書会社名（光文書院）

保健の観点		所見	研究会	調査研究委員会
1	保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進するための資質・能力を育成する内容となっていること。	単元冒頭の4コマ漫画で挙げられている事例に身近なものが多く、自分事として捉えて課題を見付けやすくしている。生涯にわたって心身の健康を保持増進するための資質・能力を育成する内容となっている。	○	○
2	身近な生活における健康・安全について理解するとともに、その技能を身に付けるようにする内容となっていること。	理解させたい内容が太字になっていたり、単元の終わりに学習のまとめで大切なことを復習する活動を設定してあったりすることで、健康・安全について理解と技能が結びつきやすい内容になっている。	◎	◎
3	「福岡スタンダード」に示されている「自学・とも学」の観点から、健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う内容となっていること。	「学んだことを生かそう」という記述欄が毎回設定されており、話し合う内容や視点が明確に示され、書いて考えたことをまとめることができるので、充実した話し合いが期待され、他者に伝える力を養う内容となっている。	◎	◎
4	健康の保持増進を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う内容となっていること。	単元終末の発展「さらに広げよう深めよう」のページでは、現代の健康や安全に関する問題が、図やイラスト、写真などの資料を使ってわかりやすく紹介されている。	○	○
5	運動、食事、休養及び睡眠については、健全な食生活の基礎となる食育推進の観点も踏まえつつ、健康的な生活習慣の形成に結びつくよう配慮するとともに、保健を除く第3学年以上の各領域及び学校給食に関する指導と関連を図った内容になっていること。	3、4年において、給食の栄養バランスや公認スポーツ栄養士の話が掲載されている。学校給食に関する指導と関連を図った内容になっている。	○	○
6	健康な生活、体の発育・発達、心の健康、けがの防止及び病気の予防について取り上げていること。また、事例などを題材にした話し合いや、実習、実験など、健康に関する課題を解決することができるような内容になっていること。	どの単元においても、授業で学習したことを日常生活のどの場面で活用するのか、事例をもとに話し合ったり、実習したりする活動が紹介されており、健康に関する課題を解決する学習活動が進めやすくなっている。	◎	◎

□各教科共通の観点（保健） 教科書会社名（Gakken）

各教科共通の観点		見 所	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。 イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適合していること。 ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	○	○
	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。 イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。 ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」のために、多様な体験的学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されていることにも、「福岡スタジアム」に位置づけられている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。 エ 「第2次福岡市教育委員会人材教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。 オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	○	○
2	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見ても適切であること。 イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。 ウ 各分野、領域及び内容に偏りなく調和がとれていること。	○	○
	使用上の留意点	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配慮されていること。 イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。 ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析ができるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配慮されていること。	○	○
3	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	○	○
	印刷・製本	大きく見やすいフォントを使用し、余白を適度に確保したゆとりある紙面構成になっている。	○	○

□保健の観点 教科書会社名 (Gakken)

保健の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進するための資質・能力を育成する内容となっていること。	学習の進め方が明記され、学習内容が「比べる→話し合う・整理する→学びを生かす」の3段階で課題解決するという見開き2ページの統一された構成となっており、児童の学びやすさにつながる。心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進するための資質・能力を育成する内容となっている。	◎	◎	◎
身近な生活における健康・安全について理解するとともに、その技能を身に付けるようにする内容となっていること。	5年「けがの防止」においては、けがの手当ての仕方について、学んだ知識をもとに実践して友達と確かめるような活動が紹介されており、実感を伴った技能の定着を促す工夫がなされている。	◎	◎	◎
「福岡スタンダード」に示されている「自学・とも学」の観点から、健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う内容となっていること。	自己の課題について考える場面、友達と意見を交流する場面が明確に示してあり、話し合う活動を促す記述もある。解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う内容となっている。	○	○	○
健康の保持増進を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う内容となっていること。	まとめる段階の「ほげんのはこ」は、児童が学んだことを活用しながら、楽しく明るい生活を営んでいこうとする態度を養う資料となっている。	○	○	○
運動、食事、休養及び睡眠については、健全な食生活の基礎となる食育推進の観点も踏まえつつ、健康的な生活習慣の形成に結びつくよう配慮するとともに、保健を除く第3学年以上の各領域及び学校給食に関する指導と関連を図った内容となっていること。	3、4年「体の発育・発達」の中で、ある日の給食の栄養バランスを調べる活動があり、学校給食に関する指導と関連を図った内容となっている。	○	○	○
健康な生活、体の発育・発達、心の健康、けがの防止及び病気の予防について取り上げていること。また、事例などを題材にした話し合いや、実習、実験など、健康に関する課題を解決する学習活動ができるような内容となっていること。	単元の途中や終わりに学びを深めるための資料「もっと知りたい調べたい」があり、健康に関する課題を解決する学習活動ができるような内容になっている。	○	○	○



令和5年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

小学校 外国語

調査研究の視点と主な審議内容（外国語）

□各教科共通の観点について

2 内容に関する配慮事項

観点	主な審議内容
<p>工 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができよう、多様性への配慮がされていること。</p>	<p>◎【東京書籍】◎【啓林館】→研究会の評価どおり ただし審議を受け、記述を一部変更</p> <p>・「啓林館」はどのような点で配慮されているといえるのか。 → 子ども達の身近な人物や職業を取り上げの中で、車いすのデニスブレーヤーの活躍に目を向けさせるなど、多様性に十分配慮されていると考える。 ・どのように配慮されているのか、文末の表現を整えるとわかりやすい。</p>

□教科の観点について

観点	主な審議内容
2	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読み取り、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる内容になっていること。</p>
	<p>◎【開隆堂出版】◎【光村図書】→研究会の評価どおり ただし審議を受け、所見の記述を変更</p>
	<p>◎の所見が同じ。どのような点が優れているのか、各社の特徴を明記した所見にした方がよい。</p>

□各教科共通の観点 (外国語) 教科書会社名 (東京書籍)

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。 イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応していること。 ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に依り、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	コミュニケーションを図る基盤となる資質・能力を育成することができるものとなっている。 学年の発達段階を配慮した教材の配列となっている。 不足なく取り上げている。 外国語の内容と他の教科との関連が図られており、段階的・継続的な指導ができるように配慮されている。単元最初のページに、関連教科名が明記されている。 発達段階に応じて、4技能を使いようまじなく配置されている。My Picture Dictionaryに、児童のオリジナルの単語を記載するスペースが用意されている。 単元終末における活動を動画で観ることができるので、ゴールの姿をイメージしやすい構成になっている。 My Picture Dictionaryと教科書がリンクしており、それぞれの二次元コードを読み取ることで、主体的に学習できるようにになっている。 「飲み物」「デザート」などの種類ごとに分けられた単語リストだけでなく、会話を広げるための表現やデジタルマップは自学等でも活用できるものとなっている。	○	○
2	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。 イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。 ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「種かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きていくキャリア教育の推進」のために、多様な体系的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が展開されていることにも、「福岡スタジアム」に位置づけられている「自学・対話」を効果的に導入していること。 エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考えを広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。 オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。 カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	単元終末における活動を動画で観ることができるので、ゴールの姿をイメージしやすい構成になっている。 My Picture Dictionaryと教科書がリンクしており、それぞれの二次元コードを読み取ることで、主体的に学習できるようにになっている。 「飲み物」「デザート」などの種類ごとに分けられた単語リストだけでなく、会話を広げるための表現やデジタルマップは自学等でも活用できるものとなっている。 どの単元も、単元の終わりに自分の考えや気持ちと交流する活動が位置付けられており、互いの違いを認め合えるような構成になっている。 障がいの有無に関わらず、楽しく活動している様子を子どもたちに見せることができる構成になっている。 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されている。 児童の負担にならないよう配慮されている。 全体の分量は、70時間を想定して適切である。各学年100ページ程度。 標準授業時数内で教材が配分されている 4分野5領域が、偏りなく調和がとれている。 学習が深まるよう、挿絵、写真、図等、有効に配置されている。 発展的な学習内容として明示されている。(目次、本文) 学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配慮されている。	○	○
3	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。 イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。 ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。 ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配慮されていること。 イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。 ウ 1人1人端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配慮されていること。	全体の分量は、70時間を想定して適切である。各学年100ページ程度。 標準授業時数内で教材が配分されている 4分野5領域が、偏りなく調和がとれている。 学習が深まるよう、挿絵、写真、図等、有効に配置されている。 発展的な学習内容として明示されている。(目次、本文) 学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配慮されている。	○	○
4	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配慮されていること。 イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。 ウ 1人1人端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配慮されていること。	全体の分量は、70時間を想定して適切である。各学年100ページ程度。 標準授業時数内で教材が配分されている 4分野5領域が、偏りなく調和がとれている。 学習が深まるよう、挿絵、写真、図等、有効に配置されている。 発展的な学習内容として明示されている。(目次、本文) 学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配慮されている。	○	○
5	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	ノート英語用線(4線)に書きやすいよう、第2線にのみ点線が挿入されており、どの原書にとっても書きやすい。なぞり書きをする際に、専用の書体が使われており、線面の向きが分かりやすい。	○	○

□外国語の観点 教科書会社名 (東京書籍)

外国語の観点	所 見	研究会	調査研究委員会
1 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気づき、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くこと、話すこと、読むこと、書くこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けることができる内容になっていること。	単元構成は、段階的な構造になっており、基礎的な技能を身に付けることができる内容になっている。	○	○
2 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりすることにも、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読み、語順を意識しながら書いて、自分の考えや気持ちなどを伝えることができる内容になっていること。	「Enjoy Communication」などの活動は、語句や表現に慣れ親しみ、自分の考えや気持ちなどを伝えることができる内容になっている。	○	○
3 「福岡スタンダード」に示されている「とも学」の観点から、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことができる内容になっていること。	他者に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うことができる内容になっている。各単元には「Enjoy communication」が設定されており、基本表現や会話を続ける表現例、コミュニケーションに役立つ情報 (Tips) が示されている。	◎	◎
4 聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くこと[発表]、話すこと[発表]、書くこと[発表]の五つの領域別の目標と内容との関係が、単元など内容や時間のまとまりごとに在教材の中で明確に示されていること。	5領域と内容との関連が明確に示されている。別冊に年間のCAN-DOリスト(到達度目標)が添付されており、単元ごとに2年間分の目標を振り返ることができるようになっている。	○	○
5 実際の言語の使用場面や言語の働きに十分に配慮した題材を取り上げた内容になっていること。	My picture Dictionaryに、言語の実際の使用場面でのように使えばよいか具体的に書かれてあり、会話の流れに沿って表現が書かれている。	◎	◎
6 英語を使用している人々を中心とする世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝説文化、自然などに関するものの中から、児童の発達段階や興味・関心に即して適切な題材が変化をもたせて取り上げられており、次の観点について配慮がなされていること。 ア 多様な考え方に對する理解を深めさせ、公正な判断力を養い豊かな心性を育てることに役立つこと。 イ 我が国の文化や、英語の背景にある文化に對する関心を高め、アジア・世界の国・地域の様々な価値を認め、理解を深めようとする態度を養うことに役立つこと。 ウ 広い視野から国際理解を深め、国際社会と向かうことが求められている我が国の一員としての自覚を高めるとともに、国際協力の精神を養うことに役立つこと。	「Over the Horizon」では、外国の方から日本の良さを紹介する内容や、国際社会の中で日本の取り組みも掲載されている。また、自分の考えを書く欄もあり、国際協力の精神を養うことができる内容となっている。	◎	◎

□各教科共通の観点 (外国語) 教科書会社 (開隆堂出版)

各教科共通の観点		見	研究会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成することができるものとなっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適切していること。	学年の発達段階を配慮した教材の配列となっている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	○	○
	エ 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	外国語の内容と他の教科との関連が図られており、段階的・系統的・継続的な指導ができるように配慮されている。単元最初のページに、関連教科名が明記されている。	◎	◎
	イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	発達段階に応じて、4技能を使うようまんべんなく配慮されている。Wood Bookに、児童のオリジナルの単語を記載するスペースがあり、児童の知りたい、言いたいという思いに応える内容となっている。	◎	◎
2	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「豊かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」のために、多様な主体的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されていること。また、「福岡スタジアム」に位置づけられている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	Word Bookに「飲み物」「デザート」などの種類ごとに分かれた単語リストとその二次元コードをがついており、主体的に学習できるようにしている。	○	○
	エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。	どの単元も、単元の終わりに自分の考えや気持ちとを交流する活動が位置づけられており、互いの違いを認め合えるような構成になっている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	グループワーク、ユニバーサル、ジェンダーの視点で、取り上げる人物や職業について配慮されている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったこと等がないよう配慮されていること。	児童の負担にならないよう配慮されている。	○	○
	キ 全体の分量は、授業時数から見適切であること。	全体の分量は、70時間を想定して若干多めである。各学年120ページ程度。	○	○
3	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数内で教材が配分されている。教科書の各ページの端に目安の時数が示されており、視覚的に分かりやすい。	◎	◎
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	4分野5領域が、偏りがなく調和がとれている。	○	○
	エ 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配慮されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図等、有効に配置されており、巻末のアルファベットカードには、裏面にイラストが載っているため、アルファベットの文字と音を関連づけられる内容となっている。	◎	◎
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習内容として明示されている。(目次、本文)	○	○
	ウ 1人1人端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析ができるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配慮されていること。	学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが配置されているが、二次元コードでデジタルコンテンツを眺み込んだ時の操作が複雑になっているが、一人一台端末では問題なく使うことができる。	○	○
5	印刷・製本	ノート用の英語用罫線(4線)の基本線だけが分かりやすく色付けしており、書きやすい構成になっている。4線の間がオレンジで示されており、4線のまわりが分かりやすい。	○	○

外国語の観点	所	見	研究会 調査研究委員会
<p>1 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気づき、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くこと、読むこと、書くこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けることができる内容になっていること。</p>	<p>単元構成は、段階的な構造になっており、基礎的な技能を身に付けることができる内容になっている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
<p>2 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読み、語順を意識しながら書きたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる内容になっていること。</p>	<p>単元のはじめに映像資料(アニメーション)があり、キャラクターが話したい内容の実際の写真などを見せながらやりとりする動画となっているため、目的や場面、状況などがとらえやすくなっている。</p>	<p>◎</p>	<p>◎</p>
<p>3 「福岡スタンダード」に示されている「どしどし」の観点から、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことができる内容になっていること。</p>	<p>他者に配慮しながら、コミュニケーションに役立つ情報をキャラクターが紹介している。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
<p>4 聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くこととの五つの領域別の目標と内容との関係が、単元と内容や時間や時間のまとまりごとに各教材の中で明確に示されていること。</p>	<p>5領域と内容との関連が明確に示されている。年間のCAN-DOリスト(到達度目標)がついており、単元ごとに5領域の目標を振り返ることができるようにになっているだけでなく、単元や学期毎に関連していきながら、自分の苦手とする領域を考える総合的な振り返りができる。</p>	<p>◎</p>	<p>◎</p>
<p>5 実際の言語の使用場面や言語の働きに十分に配慮した題材を取り上げた内容になっていること。</p>	<p>身近で簡単な事柄についての題材を取り上げた内容になっている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
<p>6 英語を使用している人々を中心とする世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、歴史、伝説文化、自然などに関するものの中から、児童の発達段階や興味・関心に即して適切な題材が変化をもたせて取り上げられており、次の観点について配慮がなされていること。 ア 多様な考え方や、英語の背景にある文化に対する関心を高め、アジア・世界の国・地域の様々な価値を認め、理解を深めようとする態度を養うことに役立つこと。 イ 我が国の文化や、英語の背景にある文化に対する関心を高め、アジア・世界の国・地域の様々な価値を認め、理解を深めようとする態度を養うことに役立つこと。 ウ 広い視野から国際理解を深め、国際社会と向かうことが求められる我が国の一員としての自覚を高めるとともに、国際協調の精神を養うことに役立つこと。</p>	<p>「Around the World」では、世界の外国の方から日本の良さを紹介する内容や、国際社会の中での日本の取り組みも掲載されており、児童の発達段階や興味・関心に即した内容となっている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>

□各教科共通の観点 (外国語) 教科書会社名 (三省堂)

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。		○	○
	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応していること。		○	○
ウ	学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す事項を不足なく取り上げていること。		○	○
	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができること。		○	○
イ	言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。		○	○
	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「豊かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」のために、多様な体系的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタンダード」に位置づけている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的に深い学びが促されるよう配慮されていること。		○	○
エ	「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。		○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。		○	○
カ	学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。		○	○
	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。		○	○
分	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図表の内容に適切に配分されていること。		○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。		○	○
使用上の	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配慮されていること。		△	△
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。		○	○
の	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。		△	△
	エ ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使用しやすいうように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び表本の様式、材料等が適切であること。		○	○

□外国語の観点 教科書会社名 (三省堂)

外国語の観点	所	研究会	調査研究委員会
<p>1 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身につけることができる内容になっていること。</p>	<p>単元構成は、段階的な構造になっており、基礎的な技能を身につけることができる内容になっている。</p>	○	○
<p>2 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる内容になっていること。</p>	<p>STEPやJUMPなどに位置づけられている活動は、語句や表現に慣れ親しみ、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる内容になっている。</p>	○	○
<p>3 「福岡スタンダード」に示されている「とも学の観点から、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる内容になっていること。</p>	<p>他者に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うことができる内容になっている。活動の際に気を付けるポイントが絵と文で記載されている。</p>	○	○
<p>4 聞くこと、読むこと、話すこと【やり取り】、話すこと【発表】、書くこと【発表】の五つの領域別の目標と内容との関係が、単元など内容や時間のまとまりごとに各教材の中で明確に示されていること。</p>	<p>5領域と内容との関連が明確に示されている。 年間のCAN-DOリスト(到達度目標)がついており、5領域の目標を振り返ることができるようになっている。</p>	○	○
<p>5 実際の言語の使用場面や言語の働きに十分に配慮した題材を取り上げた内容になっていること。</p>	<p>身近で簡単な事柄についての題材を取り上げた内容になっている。 My Dictionaryに、「会話を続けるくふう」が記載されている。</p>	○	○
<p>6 英語を使用している人々を中心とする世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然などに関するものの中から、児童の発達段階や興味・関心に即して適切な題材が変化をもたせて取り上げられており、次の観点について配慮がなされていること。 ア 多様な考え方や文化に対する理解を深めさせ、公正な判断力を養い、豊かな心情を育てることに役立つこと。 イ 我が国の文化や、英語の背景にある文化に対する関心を高め、アジア、世界の国・地域の様々な価値を認め、理解を深めようとする態度を養うことに役立つこと。 ウ 広い視野から国際理解を深め、国際社会と向かい合うことが求められる我が国の一員としての自覚を高めるとともに、国際協調の精神を養うことに役立つこと。</p>	<p>「Hello, World!」では、世界の珍しいスポーツ伝統的なスポーツ、世界の伝統的な祭りなどの内容が取り上げられ、児童の発達段階や興味・関心に即した内容となっている。</p>	○	○

□各教科共通の観点 (外国語) 教科書会社名 (教育出版)

各教科共通の観点		見 所	研究会	調査研究委員会
1	内容の配画及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。 イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適合していること。 ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	○	○
	内容	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。 イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。 ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「豊かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されていること。また、「福岡スタンダード」に位置づけられている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	○	○
2	配成	エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。	○	○
	事項	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。 カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	○	○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見ても適切であること。 イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。 ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	○	○
	使用上の留意	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配慮されていること。 イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。 ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析ができるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配慮されていること。	○	○
5	印刷	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使用しやすいうように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	○	○
	印刷	印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体などは適切である。	○	○

□外国語の観点 教科書会社名 (教育出版)

外国語の観点 所 見 研究会 調査研究委員会

<p>1 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気づき、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くこと、話すこと、書くこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身につけていること。</p>	<p>単元構成は、段階的な構造になっており、基礎的な技能を身につけることができる内容になっている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
<p>2 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするときにも、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読み、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる内容になっていること。</p>	<p>「Activity」や「Final Activity」などの活動は、語句や表現に慣れ親しみ、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる内容になっている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
<p>3 「福岡スタンダード」に示されている「も学び」の観点から、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる内容になっていること。</p>	<p>他者に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うことができる内容になっている。コミュニケーションに役立つ情報をキャラクターが紹介している。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
<p>4 聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くこと[発表]、書くこと[発音]の五つの領域別の目標と内容との関係が、単元と内容や時間のまとまりごとに各教材の中で明確に示されていること。</p>	<p>5領域と内容との関連が明確に示されている。年間の年間のCAN-DOリスト(到達度目標)はないが、教科書の見開きに、2年間で何を学習するのかが掲載されている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
<p>5 実際の言語の使用場面や言語の働きに十分に配慮した題材を取り上げた内容になっていること。</p>	<p>身近で簡単な事柄についての題材を取り上げた内容になっている。実際の言語の使用場面が動画で見ることができる。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
<p>6 英語を使用している人々を中心とする世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然などに関するものの中から、児童の発達段階や興味・関心に即して適切な題材が変化をもたせて取り上げられており、次の観点について配慮がなされていること。 ア 多様な考え方や文化に対する理解を深めさせ、公正な判断力を養い豊かな心情を育てることに役立つこと。 イ 我が国の文化や、英語の背景にある文化に対する関心を高め、アジア・世界の国・地域の様々な価値を認め、理解を深めようとする態度を養うことに役立つこと。 ウ 広い視野から国際理解を深め、国際社会と向かい合うことが求められている我が国の一員としての自覚を高めるとともに、国際協調の精神を養うことに役立つこと。</p>	<p>「World of Smiles」では、世界の子どもの生活をはじめ身近な食べ物や行事を紹介する内容が取り上げられ、児童の発達の段階や興味・関心に即して適切な題材が取り上げられている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>

□各教科共通の観点 (外国語) 教科書会社名 (光村図書)

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。		○	○
	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適合していること。		○	○
ウ	学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。		○	○
	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。		○	○
イ	言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。		○	○
	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「豊かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した「問題解決的な学習」が重視されていること、また、「福岡スタジアム」に位置づけられている「自学・自習」を効果的に進められるよう、児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的に学習が促されるよう配慮されていること。		○	○
エ	「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がなされていること。		○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。		○	○
カ	学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。		○	○
	ア 全体の分量は、授業時数から見ても適切であること。		○	○
分	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。		○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りなく調和がとれていること。		○	○
ア	本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配慮されていること。		○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。		○	○
ウ	1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配慮されていること。		○	○
	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。		○	○

□外国語の観点 教科書会社名 (光村図書)

外国語の観点	所見	研究会	調査研究委員会
<p>外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気づき、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くこと、話すこと、聴くこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けることができる内容になっていること。</p>	<p>単元構成は、段階的な構造になっており、基礎的な技能を身に付けることができる内容になっている。</p>	○	○
<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読み、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる内容になっていること。</p>	<p>単元のはじめに映像資料(アニメーション)のキャラクターの動きや表情が変化する動画となっているため、コミュニケーションの目的・場面・状況などがとらえやすくなっている。</p>	◎	◎
<p>「福岡スタンダード」に示されている「とも学」の観点から、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことができる内容になっていること。</p>	<p>他者に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うことができる内容になっている。活動の際の気を付けるポイントが記載されている。</p>	○	○
<p>聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くこと[発表]、書くこと[発表]の五つの領域別の目標と内容との関係が、単元など内容や時間のまとまりごとに各教材の中で明確に示されていること。</p>	<p>5領域と内容との関連が明確に示されている。年間のOCAN-DOリスト(到達度目標)がついており、5領域の目標を振り返ることができ、5領域と内容との関連が示されているが、関連する単元が終わらないと評価ができない。</p>	○	○
<p>実際の言語の使用場面や言語の働きに十分に配慮した題材を取り上げた内容になっていること。</p>	<p>身近で簡単な事柄についての題材を取り上げた内容になっている。教科書やPictureDictionaryに、非言語的要素や教室で使う表現などについての記載がある。</p>	○	○
<p>英語を使用している人々を中心とする世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然などに関するものの中から、児童の発達段階や興味・関心に即して適切な題材が変化をもたせて取り上げられており、次の観点について配慮がなされていること。 ア 多様な考ええ方に対する理解を深めさせ、公正な判断力を養い豊かな心情を育てることに役立つこと。 イ 我が国の文化や、英語の背景にある文化に対する関心を高め、アジア・世界の国・地域の様々な価値を認め、理解を深めようとする態度を養うことに役立つこと。 ウ 広い視野から国際理解を深め、国際社会と向かい合うことが求められている我が国の一員としての自覚を高めるとともに、国際協力の精神を養うことに役立つこと。</p>	<p>「世界の友達」では、教科書に登場する12か国の小学生一人一人に焦点をあてて、小学生の生活などの内容が取り上げられ、児童の発達の段階や興味・関心に即して適切な題材が取り上げられている。</p>	○	○

□各教科共通の観点 (外国語) 教科書会社名 (啓林館)

各教科共通の観点		見 所	研究会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。		○	○
	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適合していること。		○	○
2	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す事項を不足なく取り上げること。		○	○
	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。		○	○
3	イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。		○	○
	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習に重点を置いていること、また、「福岡スタジアム」に位置づけられている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。		○	○
4	エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。		◎	◎
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。		○	○
5	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。		○	○
	ア 全体の分量は、授業時数から見ても適切であること。		○	○
6	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。		○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。		○	○
7	ア 本文、問題、説明文、注、作品、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配慮されていること。		△	△
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。		○	○
8	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。		◎	◎
	印刷製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	△	△

□外国語の観点 教科書会社名 (啓林館)

外国語の観点	所 見	研究会 調査研究委員会
<p>1 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けることができる内容になっていること。</p>	<p>単元構成は、段階的な構造になっており、基礎的な技能を身に付けることができる内容になっている。</p>	<p>○</p>
<p>2 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読み、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる内容になっていること。</p>	<p>Step1,2やStep3などに位置づけられている活動は、語句や表現に慣れ親しみ、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる内容になっている。</p>	<p>○</p>
<p>3 「福岡スタンダード」に示されている「とも学」の観点から、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことができる内容になっていること。</p>	<p>他者に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うことができる内容になっている。コミュニケーションに役立つ情報(Tips)を紹介するコーナーが設けられている。</p>	<p>○</p>
<p>4 聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くこと[発表]、読むこと[発表]の五つの領域別の目標と内容との関係が、単元など内容や時間のまとまりごとに各教材の中で明確に示されていること。</p>	<p>5 領域と内容との関連が明確に示されている。年間のCAN-DOリスト(到達度目標)がついており、単元ごとに5領域の目標を振り返ることができるようにになっている。</p>	<p>○</p>
<p>5 実際の言語の使用場面や言語の働きに十分に配慮した題材を取り上げた内容になっていること。</p>	<p>身近で簡単な事柄についての題材を取り上げた内容になっている。教科書に「コミュニケーションに大切なこと」の記載がある。</p>	<p>○</p>
<p>6 英語を使用している人々を中心とする世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然などに関するものの中から、児童の発達段階や興味・関心に即して適切な題材が変化をもたせて取り上げられており、次の観点について配慮がなされていること。 ア 多様な考え方や、英語の背景にある文化に対する関心を高め、アジア・世界の国・地域の様々な価値を認め、理解を深めようとする態度を養うことに役立つこと。 イ 我が国の文化や、英語の背景にある文化に対する関心を高め、アジア・世界の国・地域の様々な価値を認め、理解を深めようとする態度を養うことに役立つこと。 ウ 広い視野から国際理解を深め、国際社会と向かうことが求められる我が国の一員としての自覚を高めるとともに、国際協力の精神を養うことに役立つこと。</p>	<p>「Did you know?」では、世界の学校の様子や家での仕事などの内容が取り上げられ、児童の発達段階や興味・関心に即して適切な題材が取り上げられている。</p>	<p>○</p>



令和5年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

小学校 道徳

調査研究の視点と主な審議内容（道徳）

□各教科共通の観点について

4 使用上の便宜

主な審議内容	
ウ	<p>1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルコンテンツのワークシートがあることのよさをどのように考えているか。 → 教科化され、授業の量的な確保は進んだが、今後はすべての先生の授業が質的に高まるようにしたいと考えている。その時にワークシートが、授業づくりの手がかりとなることを期待している。 </div>
	<p>◎【東京書籍】【日本文教出版】△【教育出版】</p> <p>→ 研究会の評価どおり ただし審議を受け所見の記述を変更</p>

□教科の観点について

観点

4 道徳的価値について自分との関わりで考え、感じたことをまとめ、発表し合ったり、話し合いなどにより異なる考え方や感じ方に接し、協働的に議論したりできる内容になっていること。

主な審議内容

◎【東京書籍】→ 研究会の評価どおり ただし審議を受け所見の記述を変更

・ 登場人物の気持ちを考える道徳から問題解決的な学習へ転換を図ろうとしている中、ツールとして心情円の付録があるというところは、どのような点で有効なのか。

→ 心情円をはじめとしたツールは、単に登場人物の気持ちを考えるときに役立つということではなく、「自分だったらどうするか」という考えを見える化して、それをもとに友達との議論が活発に行われる点で有効であると考える。

□各教科共通の観点 (道徳) 教科書会社名 (東京書籍)

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会
1	<p>ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。</p> <p>イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応していること。</p> <p>ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。</p> <p>エ 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。</p> <p>イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。</p>	<p>道徳的価値について理解させ、自己を見つめることができるものとなっている。</p> <p>学年の発達段階に配慮した教材の配列になっている。</p> <p>不足なく取り上げている。各学年、標準時数分以上の教材が掲載されている。</p> <p>道徳の内容と他教科との関連が図られており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。</p> <p>教科書の冒頭に話し合うことの意義が丁寧に説明され、自分の考えを書いたり、発表したりする方法などが示されている。</p>	○	○
2	<p>ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキヤリア教育の推進」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されていること、「福岡スタンダード」に位置づけられている「自学・とも学」を効果的に進めること、さらに児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。</p> <p>エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解し自らの考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。</p> <p>オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。</p>	<p>児童が興味・関心をもちやすい教材が多く見られ、児童の興味・関心を大切にしたい学習ができる内容となっている。また、児童と身近な生活を扱った教材も多く見られる。</p> <p>多様な考えを出すことができる教材が多くあり、小集団で話し合いができるよう教材が工夫されている。また、自分と違った価値観を受け入れることの大切さについて考える内容も入っている。</p> <p>体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されている。</p>	○	○
3	<p>カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を越えた事項(以下「発見的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。</p> <p>ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。</p> <p>イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。</p> <p>ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。</p>	<p>具体例が写真もふまえながら示されており、児童が身近に考えたり、実践意欲を高めて取り得る内容になっている。</p> <p>全体の分量は適切である。</p> <p>標準授業時数分の教材が配分されている。</p> <p>どの内容も偏りなく掲載されている。</p>	○	○
4	<p>ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配慮されていること。</p> <p>イ 発見的な学習内容をとり上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発見的な学習内容であることが明示されていること。</p> <p>ウ 1人1人台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析ができるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。</p>	<p>学習が深まるよう、挿絵、写真、図など、有効に配列されている。高学年巻末付録の心構え、目次の充実、とびらの詩がわかりやすい。</p> <p>「つながる・ひろがる」の内容があり、児童自身が発見的に考えようとしてくれる内容になっている。</p> <p>すべての教材に動画やスライドショー、デジタルノート等のコンテンツが充実している。</p>	◎	◎
5	<p>ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。</p>	<p>印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体などは適切である。</p>	○	○

□道徳の観点 教科書会社名(東京書籍)

道徳の観点

所見

研究会 調査研究委員会

1	道徳性を養うために、道徳的諸価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深めることができる内容になっていること。	道徳科の目標達成に資する内容になっている。	○	○
2	各教科等で行う道徳教育や「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「福岡スタンダード」(あいさつ・掃除、自学・とも学、チャレンジ・立志)を補ったり、深めたり、統合したりすることができる内容になっていること。	各教科で系統的に道徳教育を補ったり、深めたり、統合したりすることのできる内容になっている。特に「あいさつ」や「立志」についても考えを広げたり、深めたりする教材が多い。	○	○
3	学んだ道徳的価値に照らして自分の生活や考えを振り返り、自分の成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるような内容になっていること。	教材末尾に自己を見つめる問いかけが入っている。時事に沿った有名な人物を多く取り扱い、これらの課題や目標を考えることができる。	○	○
4	道徳的価値について自分との関わりで考え、感じたことをまとめ、発表し合ったり、話し合いなどにより異なる考え方、感じ方に接し、協働的に議論したりできる内容になっていること。	葛藤や悩みなど自分の生活と比べたり、つなげたりしやすい内容になっている。「心のメーター」や「心じようスケール」、「心情円」など自分の考えを可視化する様々な思考ツールが巻末にふろくとして提示されている。	◎	◎
5	道徳的価値について自己を見つめ、これからの生き方に生かしていくことを見通しながら、実現するための問題を見付け、どうしてそのような問題が生まれるのかを調べたり、他者の感じ方や考え方を確かめたりしながら問題解決に向けて話し合うことができるような内容になっていること。	どんなまなびをするのかな」のページがあり、考える、話合うがどの学年にも設定されている。全学年に、話し合いを充実させるための学び方に関する記述がある。	◎	◎
6	体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができ、具体的な内容になっていること。特に、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共育」の観点から、保護者・地域と連携した学習が効果的に実施できるような内容になっていること。	「つながる、広がる」の項目では、学校や家庭・地域で体験する内容を扱っており、自分の生活とつなげて道徳的価値について考えることができる内容になっている。	○	○
7	情報モラルや環境、人権、性的マイノリティ、平和などの身近な社会的課題を自分との関係において考え、それらの解決に寄与しようとする意欲と態度を育成することができるような内容であること。その際、多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容になっていること。	扱われている課題について偏りはなく、学年段階に即して系統的に取れあげられている。また、目次には情報モラルを扱うことが色分けで示されている。しかし、性的マイノリティに関する教材はない。	○	○
8	生命の尊重、人格の尊重、基本的人権の尊重、思いやりなどの根底を貫く国境や文化なども超えた普遍的な精神である人間尊重の精神にかなうものであって、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、深く考えることができ、人間としてよりよき生きる喜びや勇気を与えられる内容になっていること。また、いじめ問題について深く考えることができるような内容になっていること。	「いじめ」についての教材が各学年の教材あり、段階的、計画的に学習を行うことができる。人権に関する内容のものが充実している。	◎	◎

□各教科共通の観点 (道徳) 教科書会社名 (教育出版)

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	道徳的価値について理解させ、自己を見つめることができるものとなっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適切していること。	学年の発達段階に配慮した教材の配列になっている。	○	○
2	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	不足なく取り上げている。各学年、標準時数以上の教材が掲載されている。	○	○
	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができること。	道徳の内容と他教科との関連が図られており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。	○	○
3	イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	教科書の冒頭に話し合うことの意義が丁寧に説明され、自分の考えを書いたり、発表したりする方法などが示されている。	○	○
	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア学習の推進」のために、多様な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、「福岡スタジアム」に位置づけられている「自学・自習」を効果的に進められるよう、児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	児童が日常生活で出会うであろう場面が様々取り上げられており、児童に興味を持たせ、自主的・自発的な学習ができるような内容になっている。また、調べる活動やスキル習得を目的とした教材がある。	○	○
4	エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。	目次に「たいけん」と記されているページでは、体系的活動を取り入れながら発達段階に応じて、自分と違う考え方の交流ができる内容となっている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されている。	○	○
5	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を踏えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	教材によっては、学習し理解したことを更に広げたり深めたりできるよう、関連した内容を掲載している。	○	○
	ア 全体の分量は、授業時数から見ても適切であること。	全体の分量は適切である。	○	○
6	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数の教材が配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	どの内容も偏りなく掲載されている。	○	○
7	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配慮されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図など、有効に配列されている。教材の最後に道徳の学習について、自己評価する欄が設けられている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	教材によって「深めよう」の欄で、発展的な学習が展開できるようにしている。	○	○
8	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	デジタルコンテンツが教材の解説のみである。	△	△
	エ ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使用しやすいうように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体などは適切である。	○	○

□道徳の観点 教科書会社名(教育出版)

道徳の観点

研究所

研究会 調査研究委員会

1	道徳性を養うために、道徳的諸価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深めることができる内容になっていること。	道徳科の目標達成に資する内容になっている。	○	○
2	各教科等で行う道徳教育や「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「福岡スタンダード」(あいさつ・掃除、自学・とも学、チャレンジ・立志)を補ったり、深めたり、統合したりすることのできる内容になっていること。	各教科で行う道徳教育を補ったり、深めたり、統合したりすることのできる内容になっている。	○	○
3	学んだ道徳的価値に照らして自分の生活や考えを振り返り、自分の成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるような内容になっていること。	教材末尾に自己を見つめる問いかけや、これからの自分の在り方を考えさせる問いかけが記載されている。	○	○
4	道徳的価値について自分との関わりで考え、感じたことをまとめ、発表し合ったり、話し合いなどにより異なる考え方、感じ方に接し、協働的に議論したりできる内容になっていること。	目次に「たいけん」というマークがついた資料があり、役割演技をしながら体験を通して考えを交流したり深めたりすることができる。	○	○
5	道徳的価値について自己を見つめ、これからの生き方に生かしていくことを見通しながら、実現するための問題を見付け、どうしてそのような問題が生まれるのかを調べたり、他者の感じ方や考え方を確かめたりしながら問題解決に向けて話し合うことができるような内容になっていること。	「道徳ではこんな学び方をすよ」というページがあり、「考えよう」、「深めよう」、「つなげよう」がどの学年にも設定されている。とくに、「考えよう」の例として、「話し合って考えよう」「演じて考えよう」「書いて考えよう」と学び方が示されている。	○	○
6	体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができるような内容になっていること。特に、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共育」の観点から、保護者・地域と連携した学習が効果的に実施できるような内容になっていること。	学校や家庭、地域で体験する内容が多くあり、自分たちの生活につなげて考えられる内容になっている。	○	○
7	情報モラルや環境、人権、性的マイリテ、平和などの身近な社会的課題を自分との関係において考え、それらの解決に寄与しようとする意欲と態度を育成することができるような内容であること。その際、多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容になっていること。	どの学年にも巻末の「学習内容一覧」に、SDGSとの関連が記してある。性的マイリテ化に関する教材が3年生にある。	○	○
8	生命の尊重、人格の尊重、基本的人権の尊重、思いやりなどの根底を貫く国境や文化などを超えた普遍的な精神である人間尊重の精神にかなうものであって、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容になっていること。また、いじめ問題について深く考えることができるような内容になっていること。	6年生にアイズに関する資料の掲載がある。「いじめ問題」については、児童それぞれがしっかりと向き合っていることができるように、すべての学年で重点テーマとし、ユニット的に構成されている。	○	○

□各教科共通の観点 (道徳) 教科書会社名 (光村図書)

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。		道徳的価値について理解させ、自己を見つめることができるものとなっている。	○
	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適合していること。		学年の発達段階に配慮した教材の配列になっている。	○
ウ	学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。		不足なく取り上げている。各学年、標準時数分以上の教材が掲載されている。	○
	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導が行われていること。		巻末に、道徳の内容と他教科との関連が図られており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。	○
イ	言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。		教科書の冒頭に話し合うことの意義が丁寧に説明され、自分の考えを書いたり、発表したりする方法などが示されている。「比べながら話し合う時」「傾いて考えよう」では、言語的表現の例示がされている。	○
	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」のために、多様な体系的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されていること。また、「福岡スタンダード」に位置づけられている「自学・とも学」を効果的に行うことができるように児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的に深い学びが促されるよう配慮されていること。		児童の日常生活で出会うであろう場面が様々取り上げられており児童に、興味を持たせ、自主的・自発的な学習ができるように問題解決的な学習を多く取り入れている。また、「学びの記録」で記述するページが充実しており、児童が学習後の反省や考えの深まりに気付くことができるように工夫されている。	○
エ	「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。		「考えよう・話し合おう」を手掛かりに、小集団での話し合いができるよう教材が工夫されており、話し合い活動を通して、互いの個性や価値観に気付かせ、互いの多様性を尊重できるように配慮されている。	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。		体験活動、実験・実習等は、衛生面が配慮されている。安全面については、指導する際は配慮を要する教材もある。	○
カ	学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。		児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されている。	○
	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。		全体の分量は適切である。	○
分	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。		標準授業時数の教材が配分されている。	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。		どの内容も偏りなく掲載されている。	○
使用	ア 本文、問題、説明文、注、作品、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配慮されていること。		学習が深まるよう、挿絵、写真、図など、有効に配列されている。文章量が多い。文字が小さいが、写真が大きく迫力がある。	◎
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。		「コラム」で発展的な学習内容を明示している。	○
4	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析ができるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。		多くの教材にデジタルコンテンツが用意されている。音声や動画などの資料が用意されている。	○
	ア ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。		印刷はB5版であり、紙質が黄色がかっており、児童にとって取り扱いやすい。	○

□道徳科の観点 教科書会社名（光村図書）

道徳の観点

所見

研究会 調査研究委員会

<p>1 道徳性を養うために、道徳的諸価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深めることができる内容になっていること。</p>	<p>道徳科の目標達成に資する内容になっている。</p>	○	○
<p>2 各教科等で行う道徳教育や「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「福岡スタンダード」（あいさつ・掃除・自学・とも学・チャレンジ・立志）を補ったり、深めたり、統合したりすることのできる内容になっていること。</p>	<p>各教科で行う道徳教育を補ったり、深めたり、統合したりすることのできる内容になっている。</p>	○	○
<p>3 学んだ道徳的価値に照らして自分の生活や考えを振り返り、自分の成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるような内容になっていること。</p>	<p>教材末尾に「つなげよう」という問いかけがあり、学んだことを美生活の中で、生かしていくことができているように配慮されている。「学びの記録」が巻末にあり、シートを貼ったり書き込みをしたりして、毎時間の振り返りを行うことができる。</p>	○	○
<p>4 道徳的価値について自分との関わりで考え、感じたことをまとめ、発表し合ったり、話し合いなどにより異なる考え、感じ方に接し、協働的に議論したりできる内容になっていること。</p>	<p>「みんなで気持ちよく話し合うためのコツ」が発達段階に応じて提示されており、協働的に議論をする手だてとなる。</p>	◎	◎
<p>5 道徳的価値について自己を見つめ、これからの生き方に生かしていくことを見通しながら、実現するための問題を見付け、どうしてそのような問題が生まれるのかを調べたり、他者の感じ方や考え方を確かめたりしながら問題解決に向けて話し合うことができるような内容になっていること。</p>	<p>教材末尾に設定されている問いが、教材中の人物の心情を考えさせるものが多いが、問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習につながるものが改善されている多様な学びのための資料が多くある。「考える準備体操」「学びの準備体操」があり、授業前の考えをつくれるようになっている。</p>	○	○
<p>6 体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができるような内容になっていること。特に「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共育」の観点から、保護者・地域と連携した学習が効果的に実施できるような内容になっていること。</p>	<p>学校・家庭・地域で体験する内容を取り扱っており、自分の生活とつなげて道徳的価値について考えられる内容になっている。</p>	○	○
<p>7 情報モラルや環境、人権、性的マイノリティ、平和などの身近な社会的課題を自分との関係において考え、それらの解決に寄与しようとする意欲と態度を育成することができるような内容であること。その際、多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容になっていること。</p>	<p>各教科と現代的諸課題との関連が分かるように、巻末に一覧表で示されている。扱われている課題についても偏りはなく、学年段階に即して系統的に取り上げられている。しかし、性的マイノリティに関する教材はない。「現代的な課題等との関わり」が巻末に一覧で示されている。多様な資料や教材が豊富。思考ツールのワークシート等。</p>	○	○
<p>8 生命の尊重、人格の尊重、基本的人権の尊重、思いやりなどの心などの根底を貫く国境や文化などとも超えた普遍的な精神である人間尊重の精神にかなうものであって、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、深く考えることにより、人間としてよりよき生きる喜びや勇気を与えられる内容になっていること。また、いじめ問題について深く考えることができるような内容になっていること。</p>	<p>いじめの問題への対応につながる項目や内容は発達段階に応じて見られた。特に「いじめの問題」に関して取り扱っている教材に関しては、いじめの抑止力となりうる資質・能力を育んでいくことができるような内容が取り扱われているため、道徳科の特質に適合している。</p>	◎	◎

□各教科共通の観点（道徳） 教科書会社名（ 日本文教出版 ）

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。		○	○
	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応していること。		○	○
ウ	学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	各学年、標準時数以上の教材が掲載されているため、学校や児童の実態等に合わせた内容を選択することができる。	◎	◎
	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。		○	○
イ	言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	教科書の冒頭に話し合うことの意義が丁寧に説明され、自分の考えを書いたり、発表したりする方法などが示されている。	○	○
ウ	「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」のために、多様な体系的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されていること、「福岡スタジアム」に位置づけられている「自学・ども学」を効果的に行うことができるように児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	児童が日常生活で出会うであろう場面が様々な取り上げられており、児童に興味をもたせ、自主的・自発的な学習ができるよう問題解決的な学習を多く取り入れている。	○	○
	エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。		○	○
オ	体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されている。	○	○
カ	学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を扱った事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	小集団での話し合いができるよう教材が工夫されており、話し合い活動を通して、互いの個性や価値観の違いに気付かせ、互いの多様性を尊重できるように配慮されている。	○	○
	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。		○	○
分	学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数分の教材が配分されている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	どの内容も偏りなく掲載されている。	○	○
使	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配慮されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図など、有効に配列されている。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習内容とわかるように「心のベンチ」として区別されている。	○	○
便	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	全ての教材でデジタルコンテンツが用意されており、道徳の学習に生かせるものが充実している。	◎	◎
	エ ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使用しやすいうように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体などは適切である。	○	○

□道徳の観点 教科書会社名(日本文教出版)

道徳の観点

所 見

研究会 調査研究委員会

<p>1 道徳性を養うために、道徳的諸価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深めることができる内容になっていること。</p>	<p>道徳科の目標達成に資する内容になっている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
<p>2 各教科等で行う道徳教育や「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「福岡スタンダード」(あいさつ・掃除・自学・とも学・チャレンジ・立志)を補ったり、深めたり、統合したりすることができる内容になっていること。</p>	<p>各教科で行う道徳教育を補ったり、深めたり、統合したりすることのできる内容になっている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
<p>3 学んだ道徳的価値に照らしながら自分の生活や考えを振り返り、自分の成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるような内容になっていること。</p>	<p>教材の末尾に、「見つめよう」「生かそう」という主体的・対話的で深い学びの視点につながる手がかりが示されているので、道徳科の学びの深まりにつながる。</p>	<p>◎</p>	<p>◎</p>
<p>4 道徳的価値について自分との関わりで考え、感じたことをまとめ、発表し合ったり、話し合いなどにより異なる考え方や、感じ方に接し、協働的に議論したりできる内容になっていること。</p>	<p>教材の最後の「考えてみよう」が話し合う際について考えるのか手がかりが書いてあるので議論させやすい。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
<p>5 道徳的価値について自己を見つめ、これからの生き方に生かしていくことを見通しながら、実現するための問題を見付け、どうしてそのような問題が生まれるのかを調べたり、他者の感じ方や考え方を確かめたりしながら問題解決に向けて話し合うことができるような内容になっていること。</p>	<p>「どうとく」の学び方の中には、様々な道徳の学び方が示されており、多様な指導方法を教師が参考にでき、くつと深める]では、原重が道徳的価値について他者とともに話し合っって自分の考えを深める構成になっている。</p>	<p>◎</p>	<p>◎</p>
<p>6 体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができ、具体的な内容になっていること。特に、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共育」の観点から、保護者・地域と連携した学習が効果的に実施できるような内容になっていること。</p>	<p>学校や家庭・地域で体験する内容を取り扱っており、自分の生活とつなげて、道徳的価値について考えることができる内容になっている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
<p>7 情報モラルや環境、人権、性的マイリテリ、平和などの身近な社会的課題を自分との関係において考え、それらの解決に参与しようとする意欲と態度を育成することができるような内容であること。その際、多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容になっていること。</p>	<p>扱われている課題について偏りはなく、学年段階に即して系統的に取り上げられている。また、「心のベンチ」で身近な社会問題を取り上げたり、各教材と現代的諸課題との関連がわかるように、巻末の一覧表の中に「テーマ」として示されたりしている。しかし、性的マイリテリに関する教材はない。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
<p>8 生命の尊重、人格の尊重、基本的人権の尊重、思いやりなどの心などの根底を貫く国境や文化なども超えた普遍的な精神である人間尊重の精神にかなうものであって、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、深く考えることができ、人間としてよりよき生きる喜びや勇気を与えられる内容になっていること。また、いじめ問題について深く考えることができるような内容になっていること。</p>	<p>いじめの問題への対応につながる項目や内容は、発達段階に応じて多く見られ、巻頭の目次欄にもいじめをなくすためにと表記されており、指導する際に教師のいじめ防止への意識も高まる。特に、心のベンチの中で6年にいじめについて考えよう]があり、いじめに關して具体的に取り扱っている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>

□各教科共通の観点 (道徳) 教科書会社名 (光文書院)

各教科共通の観点		所見	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	道徳的価値について理解させ、自己を見つめることができるものとなっている。	○
	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適合していること。	学年の発達段階に配慮した教材の配列になっている。	○
2	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	不足なく取り上げている。また、各学年、標準時数以上の教材が掲載されているため、学校や児童の実態等に合わせた内容を選択することができる。	◎
	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導がされていること。	道徳の内容と他教科との関連が図られており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。	○
3	イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	教科書の冒頭に話し合うことの意義が丁寧に説明され、自分の考えを書いたり、発表したりする方法などが示されている。	○
	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生かせるキャリア教育の推進」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されていることにも、「福岡スタンダード」に位置づけられている「自学・とも学」を効果的に進められるよう、児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	児童が日常生活で出会う場面が様々取り上げられており、児童に興味をもたせ、自主的・自発的な学習ができるよう問題解決的な学習を多く取り入れている。	○
4	エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。	小集団での話し合いができるよう教材が工夫されており、話し合い活動を通して互いの個性や価値観の違いに気づかせ、互いの多様性を尊重できるように配慮されている。	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されている。	○
5	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	教材によっては、学習し理解したことを更に広げたり深めたりできるよう、関連した内容を掲載している。	○
	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量は適切である。	○
6	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数分の教材が配分されている。	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	どの内容も偏りなく掲載されている。	○
7	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配慮されていること。	学習が深まるよう、挿絵、写真、図など、有効に配列されている。教材が簡潔にまとめられており、児童に伝わりやすい。	◎
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	「コラム」「ふろく」等で発展的な内容を明示している。	○
8	ウ 1人1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析ができるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配慮されていること。	目次に動画資料の所在が示されており、児童が活用しやすい。また、教材の資料となるデジタルコンテンツが用意されている。	○
	エ ユニバーサルデザインを考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての児童が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体などは適切である。	○

□道徳の観点 教科書会社名(光文書院)

道徳の観点 研究所 見 研究会 調査研究委員会

<p>1 道徳性を養うために、道徳的諸価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深めることができる内容になっていること。</p>	<p>道徳科の目標達成に資する内容になっている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
<p>2 各教科等で行う道徳教育や「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「福岡スタンダード」(あいさつ・掃除、自学・とも学、チャレンジ・立志)を補ったり、深めたり、統合したりすることのできる内容になっていること。</p>	<p>各教科で行う道徳教育を補ったり、深めたり、統合したりすることのできる内容になっている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
<p>3 学んだ道徳的価値に照らして自分の生活や考えを振り返り、自分の成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるような内容になっていること。</p>	<p>教材末尾に「まとめよう」「ひろげよう」があり、道徳的価値について深める問いかけをしている。巻末には、「学びの足あと」を記録でき、自分の成長を実感させやすい。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
<p>4 道徳的価値について自分との関わりで考え、感じたことをまとめ、発表し合ったり、話し合いなどにより異なる考え方、感じ方に接し、協働的に議論したりできる内容になっていること。</p>	<p>教材の最後の「かんがえよう」が話し合う際について考えるのか手掛かりが書かれているので議論させやすい。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
<p>5 道徳的価値について自己を見つめ、これからの生き方に生かしていくことを見通しながら、実現するための問題を見付け、どうしてそのような問題が生まれるのかを調べたり、他者の感じ方や考え方を確かめたりしながら問題解決に向けて話し合うことができるような内容になっていること。</p>	<p>教材末尾に、児童の発達段階に忠じて、ねらいとすると道徳的価値について、児童の身近な経験や出来事についての問いかけが提示しており、何を考えたらよいか分かる内容になっている。巻頭に思考ツールなどが例示しており、学び方について学ぶことができる。</p>	<p>◎</p>	<p>◎</p>
<p>6 体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができるとような内容になっていること。特に、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共育」の観点から、保護者・地域と連携した学習が効果的に実施できるような内容になっていること。</p>	<p>教材末「広げよう」の記載があるものは、学校や家庭、地域などで発展的に活動できる内容になっており、自分の生活とつなげて道徳的価値について考えることができる内容になっている。</p>	<p>◎</p>	<p>◎</p>
<p>7 情報モラルや環境、人権、性的マイノリティ、平和などの身近な社会的課題を自分との関係において考え、それらの解決に寄与しようとする意欲と態度を育成することができるような内容であること。その際、多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容になっていること。</p>	<p>扱われている課題についても偏りはなく、学年段階に即して系統的に取り上げられている。また、目次には、情報モラルやいじめ、命に関する内容がマークで記されており、巻末の一覧表には、教材と現代的課題との関連が示されている。6年に性的マイノリティを扱った資料がある。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
<p>8 生命の尊重、人格の尊重、基本的人権の尊重、思いやりなどの根底を貫く国境や文化なども超えた普遍的な精神である人間尊重の精神にかなうものであって、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容になっていること。</p>	<p>いじめ問題への対応につながる項目や内容は発達段階に応じて見られた。特に、生命の学習について、各学年系統的に配列している。また、低学年では身近な出来事、中高学年ではオリンピックパラボリンピックの選手等の人物を取り上げ、生き方に迫らせたり生きている喜びを感じさせたりすることのできる内容になっている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>

□各教科共通の観点 (道徳) 教科書会社名 (Gakken)

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。		道徳的価値について理解させ、自己を見つめることができるものとなっている。	○
	イ 内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適合していること。		学年の発達段階に配慮した教材の配列になっている。	○
2	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野又は言語の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。		不足なく取り上げている。各学年、標準時数以上の教材が掲載されている。	○
	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができること。		道徳の内容と他教科との関連が図られており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。	○
3	イ 言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。		教科書の冒頭に話し合うことの意義が丁寧に説明され、自分の考えを書いたり、発表したりする方法などが示されている。	○
	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」及び「グローバル社会を生きるキャリア教育の推進」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されていることにも、「福岡スタジアム」に位置づけられている「自学・とも学」を効果的に行うことができるよう児童の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。		児童が日常生活で出会う場面で様々な取り組みが盛り込まれており、児童に興味をもたせ、自主的・自発的な学習ができるよう問題解決的な学習を多く取り入れている。	○
4	エ 「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の理念に基づき、1人1人が互いの異なる背景や考え方を尊重し、相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりすることができるよう、多様性への配慮がされていること。		小集団での話し合いができるよう教材が工夫されており、話し合い活動を通して、互いの個性や価値観の違いに気付かせ、互いの多様性を尊重できるように配慮されている。	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。		体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されている。	○
5	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項(以下「発展的な学習内容」という。)を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。		教材によっては、学習し理解したことを更に広げたり、深めたりできるよう関連した内容を掲載している。	○
	ア 全体の分量は、授業時数から見ても適切であること。		全体の分量は適切である。	○
6	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。		標準授業時数分の教材が配分されている。	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。		どの内容も偏りなく掲載されている。	○
7	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配慮されていること。		学習が深まるよう、挿絵、写真、図など、有効に配列されている。	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。		「心のパスポート」で発展的な学習を示している。	○
8	ウ 1人1人端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析ができるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配慮されていること。		目次に動画資料の所在が示してある。	○
	イ 印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体等が適切であること。		印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体などは適切である。	○

□道徳の観点 教科書会社名 (Gakken)

道徳の観点

所 見

研究会 調査研究委員会

<p>1 道徳性を養うために、道徳的諸価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深めることができる内容になっていること。</p>	<p>道徳科の目標達成に資する内容になっている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
<p>2 各教科等で行う道徳教育や「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「福岡スタンダード」(あいさつ・掃除、自学、チャレンジ、立志)を補ったり、深めたり、統合したりすることのできる内容になっていること。</p>	<p>各教科で行う道徳教育を補ったり、深めたり、統合したりすることのできる内容になっている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
<p>3 学んだ道徳的価値に照らしながら自分の生活や考えを振り返り、自分の成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるような内容になっていること。</p>	<p>教材の後に「考えよう」等で、登場人物の行為や心情について追求し、学んだ道徳的価値をもとに、自分の生活を振り返り、これまでの自分やこれからの自分を考えることができる内容になっている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
<p>4 道徳的価値について自分との関わりで考え、感じたことをまとめ、発表し合ったり、話し合いなどにより異なる考え方、感じ方に接し、協働的に議論したりできる内容になっていること。</p>	<p>どの学年にも「深めよう」というページがあり、協働的に議論を深めるのに有効である。原書が自分の考えをもち議論していく中で、自分の考えがより明確になりやすい。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
<p>5 道徳的価値について自己を見つめ、これからの生き方に生かしていくことを見通しながら、実現するための問題を見付け、どうしてそのような問題が生まれるのかを調べたり、他者の感じ方や考え方を確かめたりしながら問題解決に向けて話し合うことができるような内容になっていること。</p>	<p>身近な人物を取り上げた教材が多く、思いや願い等を考え、生き方について触れることで、友達の考えと自分の考えを比べたり、自分を振り返ったりすることのできる内容になっている。特に、スポーツ等で活躍している人物を取り上げた教材が、各学年取り上げられており、児童がよく知っている人物であり、あこがれや自分もやってみようという意欲につながる内容になっている。</p>	<p>◎</p>	<p>◎</p>
<p>6 体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができるような内容になっていること。特に、「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「共育」の観点から、保護者・地域と連携した学習が効果的に実施できるような内容になっていること。</p>	<p>学校や家庭・地域で体験する内容を取り扱っており、自分の生活とつながって、道徳的価値について考えることができる内容になっている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
<p>7 情報モラルや環境、人権、性的マイノリティ、平和などの身近な社会的課題を自分との関係において考え、それらの解決に寄与しようとする意欲と態度を育成することができるような内容であること。その際、多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのない内容になっていること。</p>	<p>扱われている課題について偏りはなく、学年段階に即して系統的に取り上げられている。しかし、性的マイノリティに関する教材はない。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
<p>8 生命の尊重、人格の尊重、基本的人権の尊重、思いやりの心などの根底を貫く国境や文化なども超えた普遍的な精神である人間尊重の精神にかかわるものであって、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、深く考えることができ、人間としてよりよき生きる喜びや勇気を与えられる内容になっていること。また、いじめ問題について深く考えることができるような内容になっていること。</p>	<p>いじめの問題への対応につながる項目や内容は、発達段階に即して見られる。また、いろいろな立場でいじめについて考えることができる教材がある。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>